

3. 出産や子育てに関することについておたずねします。

問7 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか(感じましたか)。(1つに○)

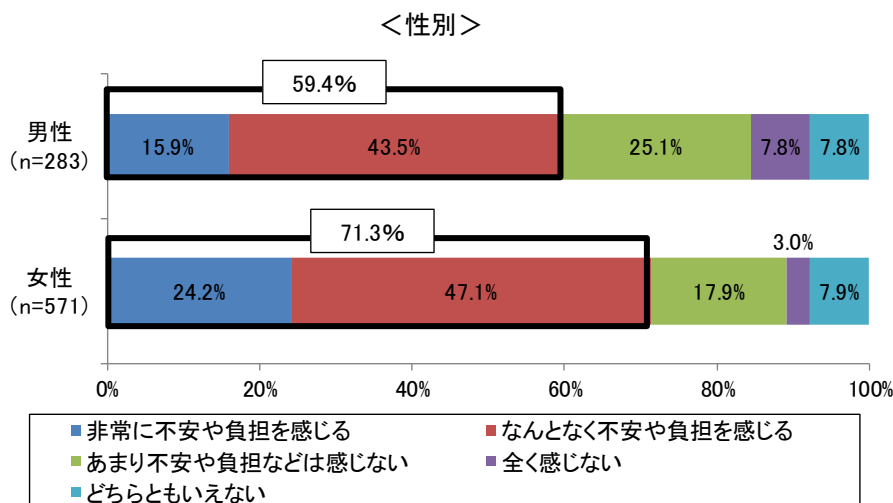
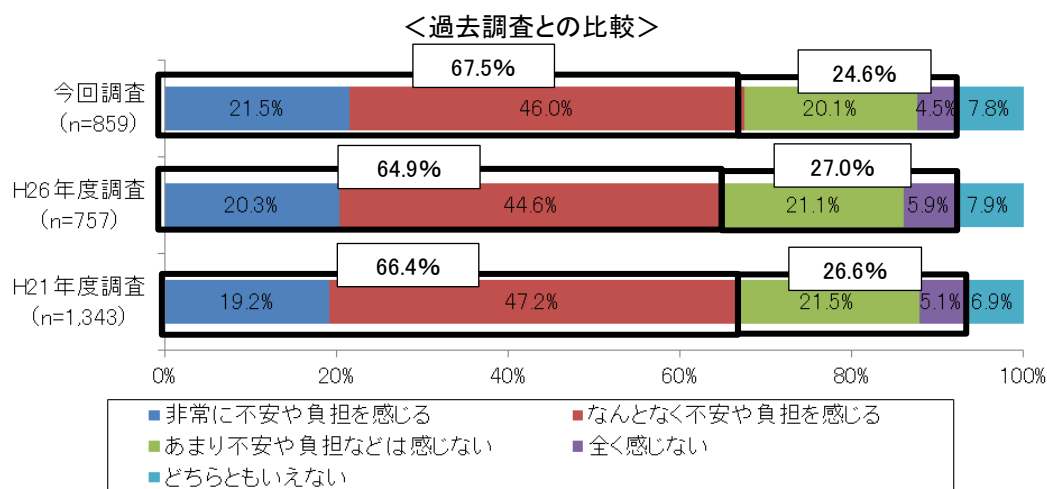
「不安や負担を感じる」(「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の計:以下同じ)は67.5%となっている。「不安や負担は感じない」(「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」の計:以下同じ)は24.6%で、前者が大きく上回っている。

過去調査との比較では、「不安や負担を感じる」は6割台、「不安や負担は感じない」は2割台で推移しており、大きな差はみられない。

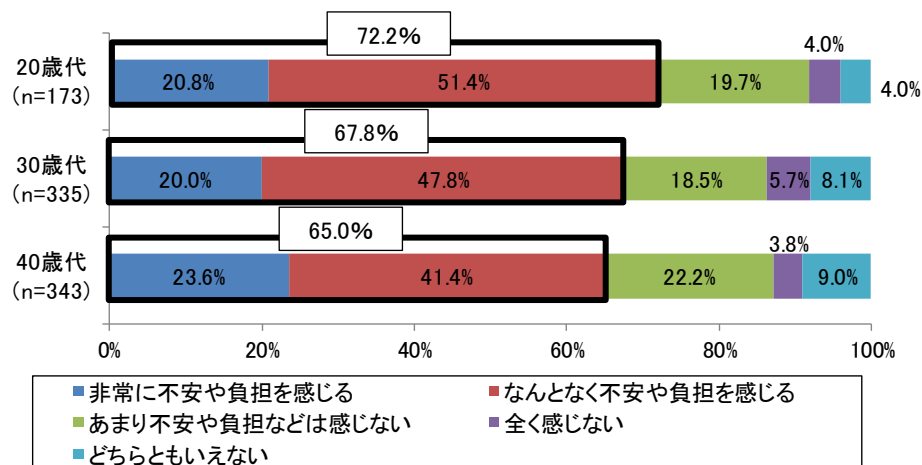
性別では、女性は「不安や負担を感じる」が71.3%であり、男性を11.9ポイント上回っている。

年代別では、20歳代で「不安や負担を感じる」が72.2%であり、若い世代ほど不安や負担を感じる傾向にある。

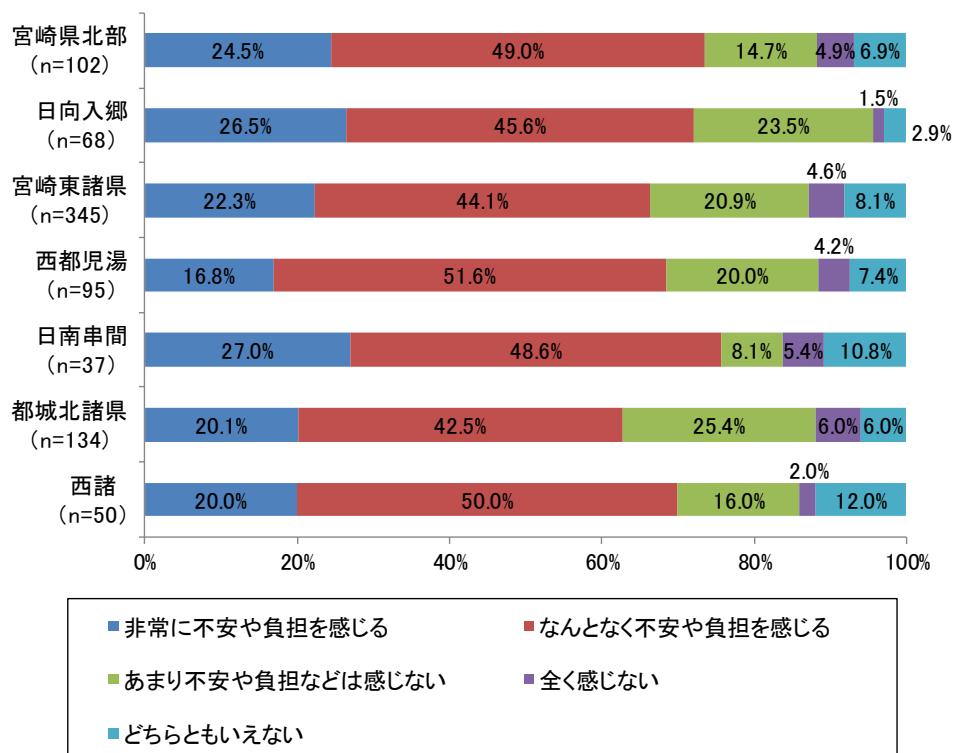
二次医療圏別では、宮崎県北部、日向入郷、日南串間で「不安や負担を感じる」の割合が7割を超えている。一方、都城北諸県では、「不安や負担は感じない」が3割を超えている状況にある。



<年代別>



<二次医療圏別>



問8 あなたは、子育てに関してどのような悩みや不安を感じますか(感じましたか)。

(3つまで〇)

第1位「子育てにお金がかかる」(56.3%)、第2位「子どもとの接し方やしつけの方法が正しいかという不安がある」(41.1%)、第3位「仕事と子育ての両立が難しい」(27.9%)となっている。

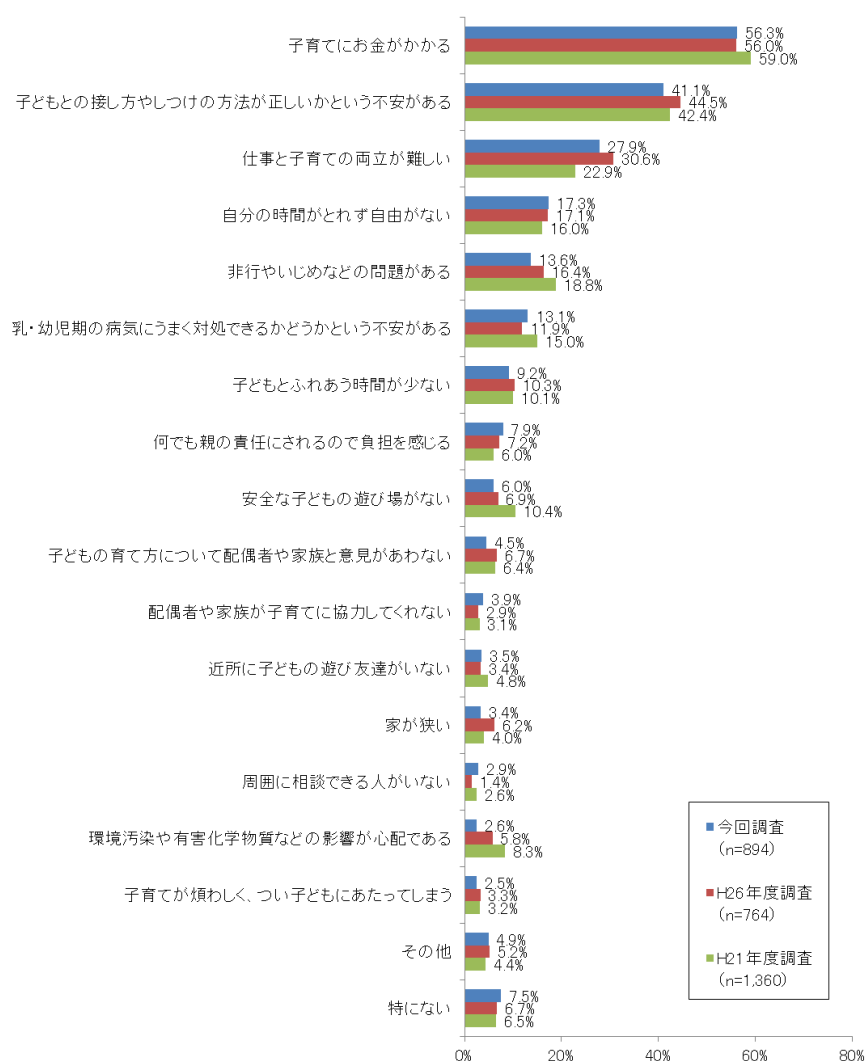
過去調査との比較では、順位に大きな変動はみられない。

性別では、女性で「仕事と子育ての両立が難しい」の割合(34.6%)が男性(14.0%)を20.6ポイント上回っている。

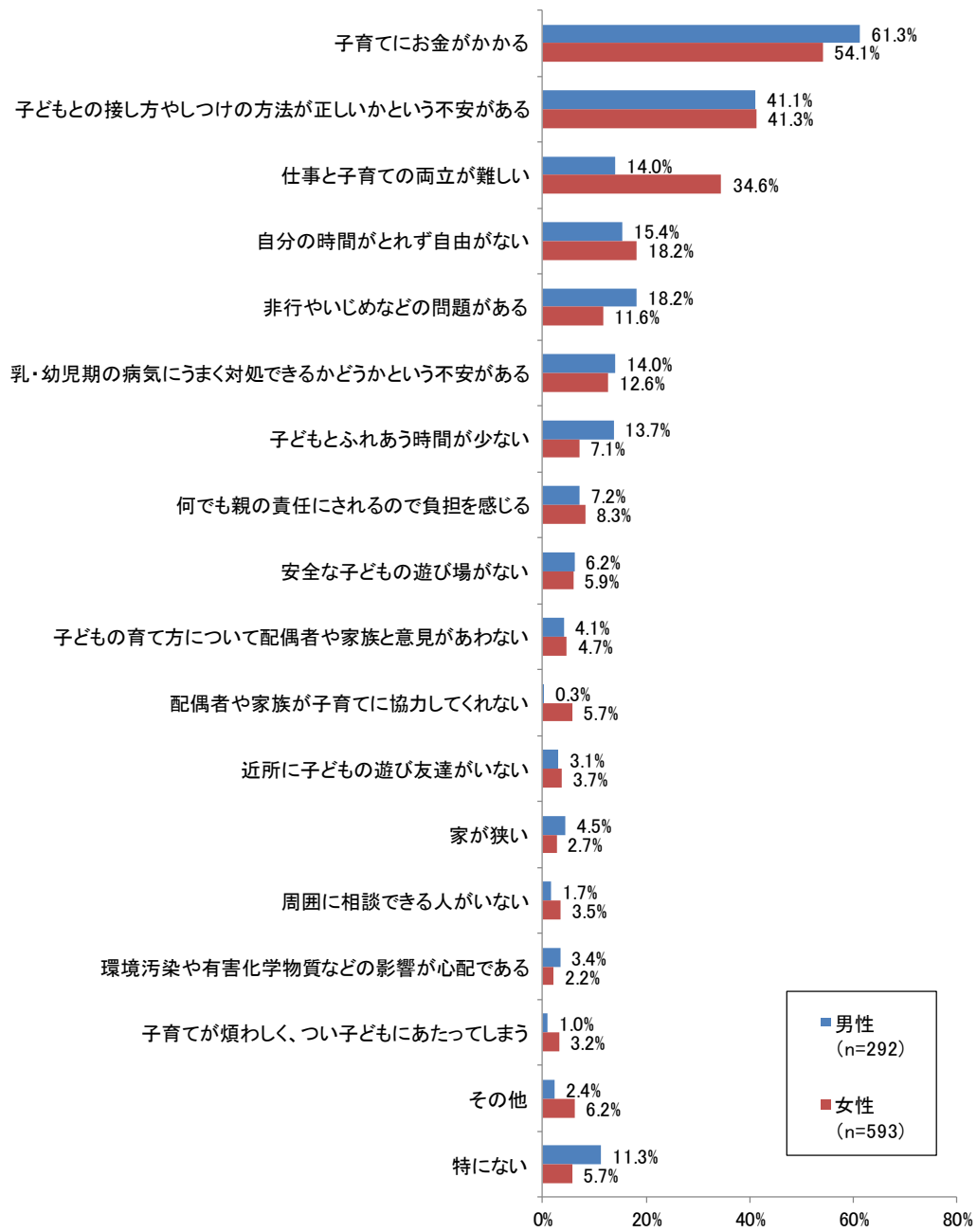
年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向を示している。

二次医療圏別では、日南串間では、「自分の時間がとれず自由がない」の割合が30.0%で他の圏域よりも高くなっている。

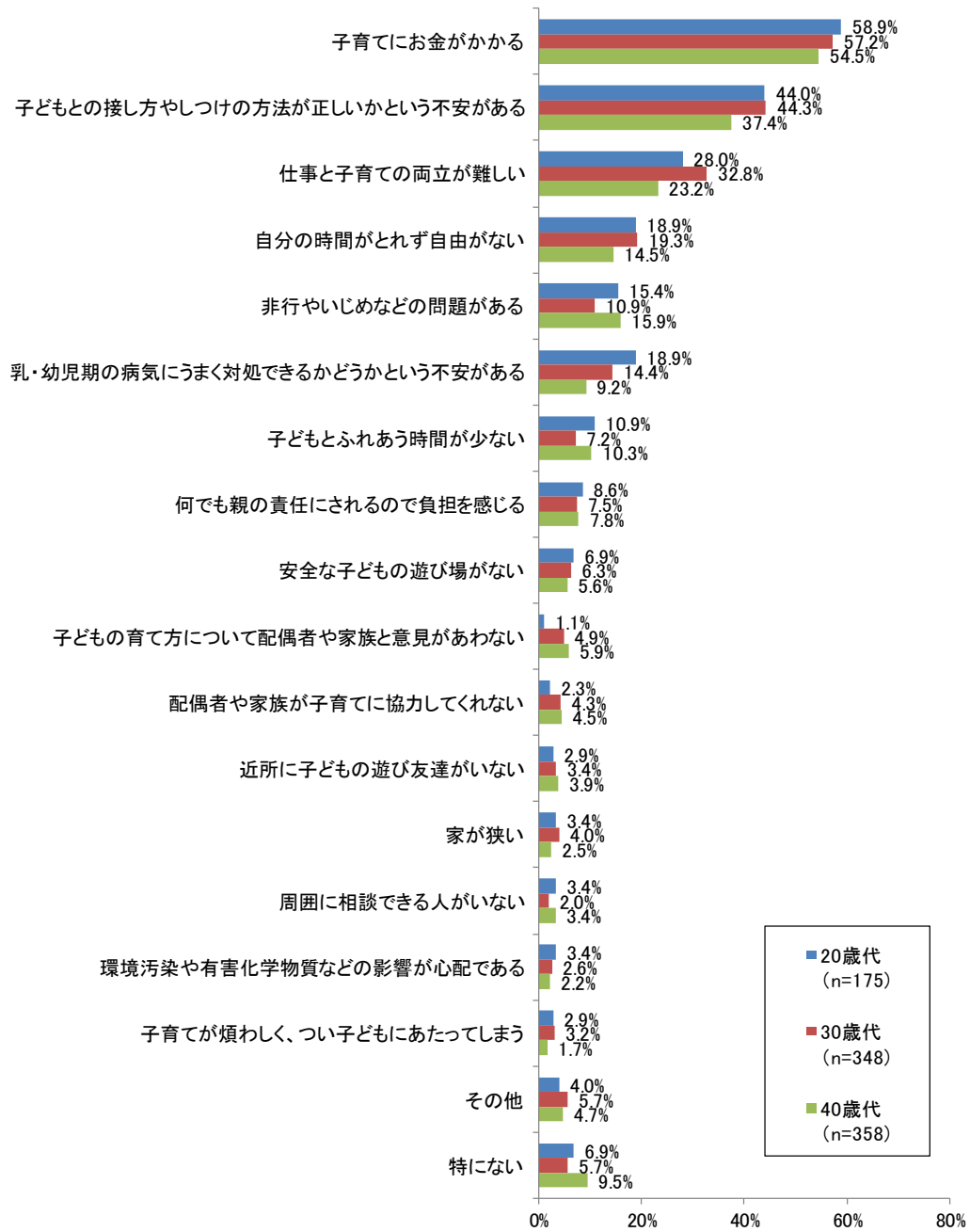
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
子育てにお金がかかる	54.1%	48.6%	58.3%	60.0%	62.5%	59.9%	41.2%
子どもとの接し方やしつけの方法が正しいかという不安がある	40.4%	33.3%	41.7%	44.2%	32.5%	41.6%	49.0%
仕事と子育ての両立が難しい	30.3%	20.8%	29.9%	30.5%	25.0%	21.9%	29.4%
自分の時間がとれず自由がない	12.8%	15.3%	18.3%	16.8%	30.0%	16.1%	15.7%
非行やいじめなどの問題がある	8.3%	13.9%	15.2%	9.5%	25.0%	16.1%	5.9%
乳・幼児期の病気にうまく対処できるかどうかという不安がある	15.6%	15.3%	13.0%	13.7%	15.0%	12.4%	11.8%
子どもとふれあう時間が少ない	6.4%	9.7%	7.3%	11.6%	10.0%	13.1%	13.7%
何でも親の責任にされるので負担を感じる	5.5%	8.3%	7.3%	9.5%	2.5%	9.5%	11.8%
安全な子どもの遊び場がない	11.0%	11.1%	4.5%	5.3%	7.5%	4.4%	3.9%
子どもの育て方について配偶者や家族と意見があわない	6.4%	5.6%	3.7%	6.3%	0.0%	3.6%	5.9%
配偶者や家族が子育てに協力してくれない	3.7%	6.9%	3.1%	5.3%	0.0%	3.6%	5.9%
近所に子どもの遊び友達がいない	6.4%	6.9%	2.3%	3.2%	5.0%	2.9%	3.9%
家が狭い	3.7%	0.0%	3.1%	5.3%	2.5%	3.6%	5.9%
周囲に相談できる人がいない	0.9%	2.8%	3.4%	5.3%	0.0%	1.5%	5.9%
環境汚染や有害化学物質などの影響が心配である	5.5%	5.6%	1.7%	3.2%	0.0%	2.9%	0.0%
子育てが煩わしく、つい子どもにあたってしまう	0.9%	1.4%	2.8%	3.2%	0.0%	3.6%	2.0%
その他	2.8%	6.9%	3.7%	6.3%	5.0%	8.8%	5.9%
特になし	9.2%	8.3%	6.5%	7.4%	7.5%	6.6%	11.8%

問9 問8「子育てに関してどのような悩みや不安を感じますか(感じましたか)。」において、「仕事と子育ての両立が難しい」を選ばれた方におうかがいします。

職場において、どのような制度や支援があれば、両立がしやすくなると思いますか。(2つまで○)

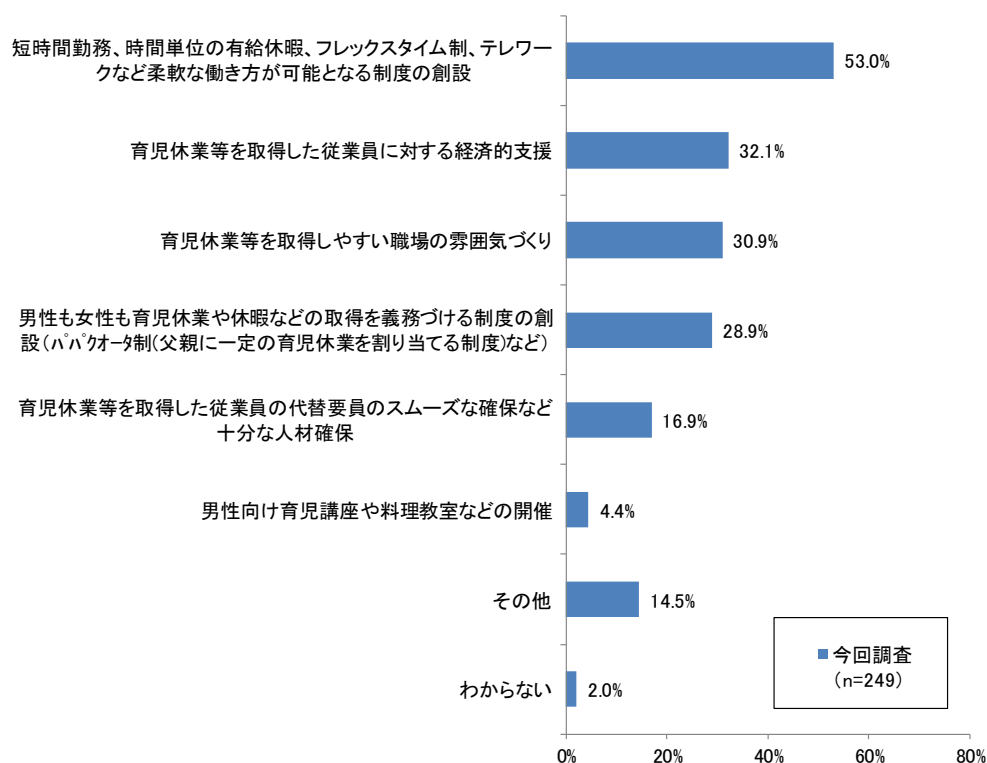
第1位「短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設」(53.0%)、第2位「育児休業等を取得した従業員に対する経済的支援」(32.1%)、第3位「育児休業等を取得しやすい職場の雰囲気づくり」(30.9%)となっている。

性別では、男性は「男性も女性も育児休業や休暇などの取得を義務づける制度の創設(パクオータ制(父親に一定の育児休業を割り当てる制度)など)」の割合(51.2%)が最も高く、女性は「短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設」の割合(57.6%)が最も高くなっている。

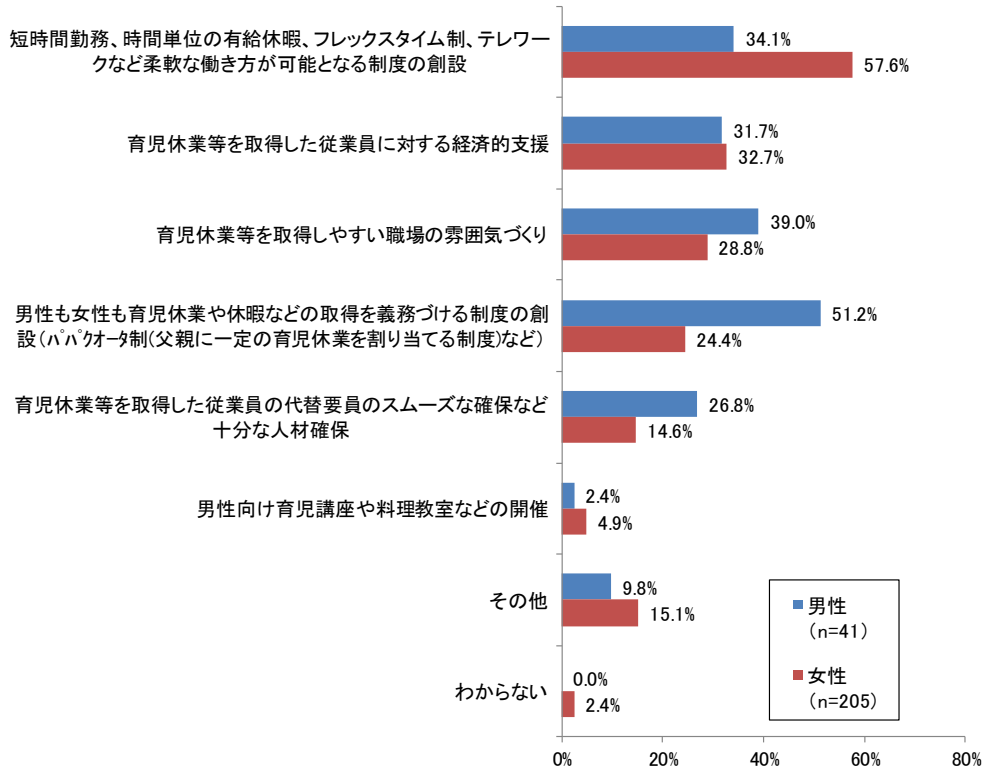
年代別では、いずれの年代も上位項目は、全体と概ね同様の傾向を示している。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いた地域は回答数が少ないため、分析は行わない。

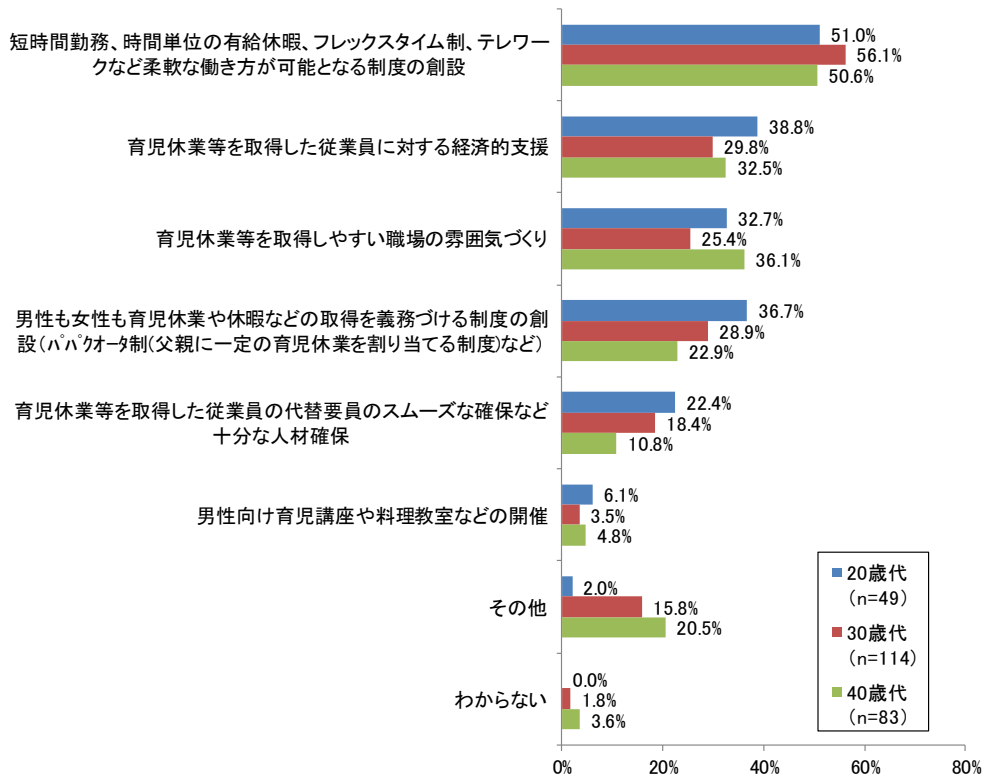
<今回調査 全体>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=33)	日向入郷 (n=15)	宮崎東諸県 (n=106)	西都児湯 (n=29)	日南串間 (n=10)	都城北諸県 (n=30)	西諸 (n=15)
短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設	45.5%	60.0%	48.1%	62.1%	80.0%	60.0%	53.3%
育児休業等を取得した従業員に対する経済的支援	39.4%	46.7%	33.0%	24.1%	30.0%	20.0%	46.7%
育児休業等を取得しやすい職場の雰囲気づくり	42.4%	26.7%	30.2%	17.2%	10.0%	26.7%	40.0%
男性も女性も育児休業や休暇などの取得を義務づける制度の創設(ハハクータ制(父親に一定の育児休業を割り当てる制度)など)	21.2%	20.0%	33.0%	34.5%	40.0%	26.7%	20.0%
育児休業等を取得した従業員の代替要員のスムーズな確保など十分な人材確保	15.2%	6.7%	21.7%	6.9%	10.0%	20.0%	6.7%
男性向け育児講座や料理教室などの開催	0.0%	0.0%	6.6%	6.9%	10.0%	3.3%	0.0%
その他	21.2%	6.7%	12.3%	13.8%	0.0%	23.3%	13.3%
わからない	3.0%	6.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問10 あなたは子どもが欲しいですか。また既にお子さんのいらっしゃる方はさらに子どもが欲しいですか。(1つに○)

○現在の子ども数

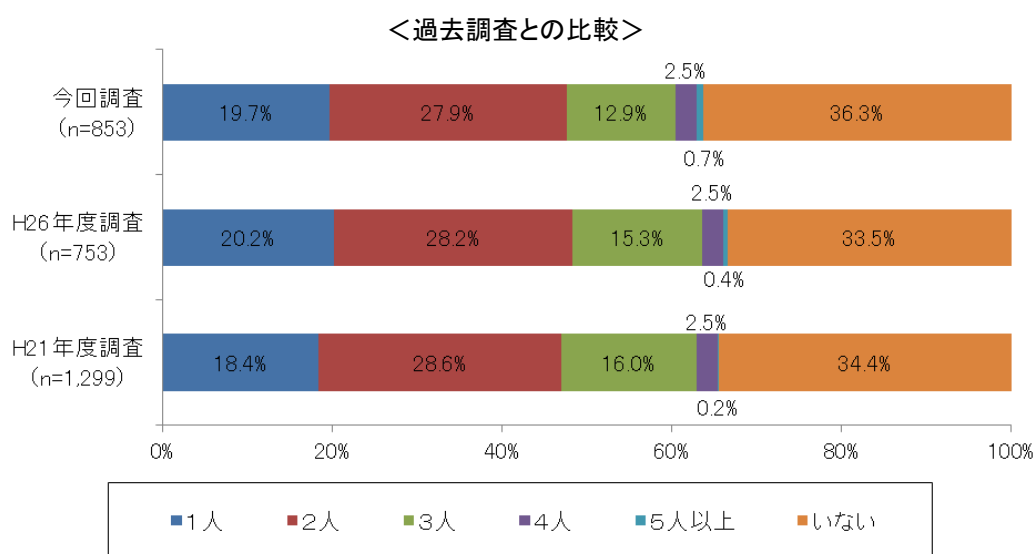
「いない」が36.3%で割合が最も高く、「2人」が27.9%、「1人」が19.7%、「3人」が12.9%の順となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の結果を示している。

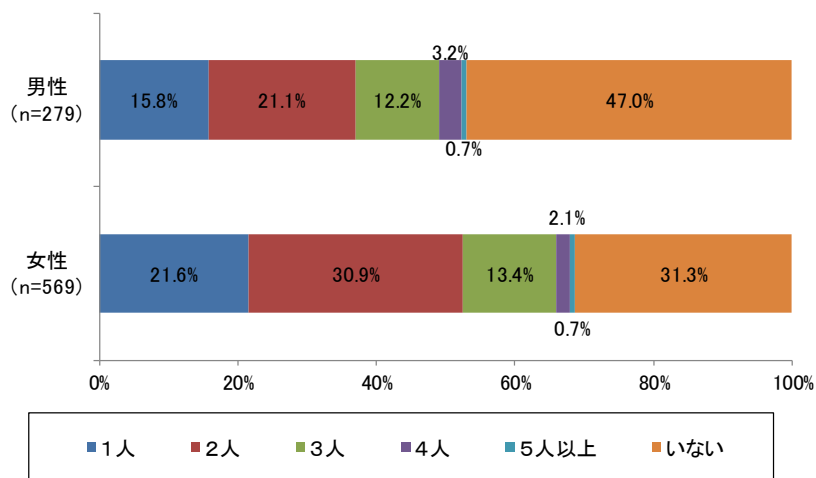
性別では、男性で「いない」(47.0%)が最も高い。女性は「いない」が31.3%、「2人」が30.9%となっている。

年代別では、「いない」は20歳代の割合(72.2%)が最も高く、30歳代は30.9%、40歳代は24.8%となっている。

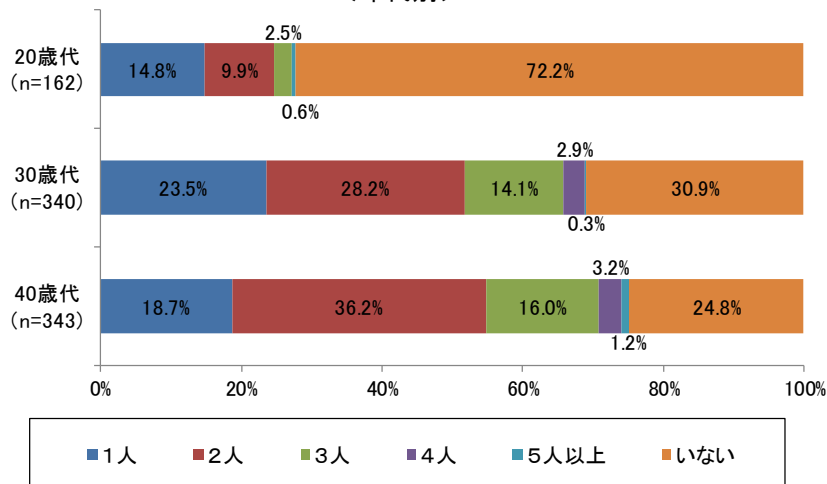
二次医療圏別では、「いない」は宮崎県北部、宮崎東諸県、日南串間では約4割となっているが、西都児湯と西諸では2割台後半となっている。



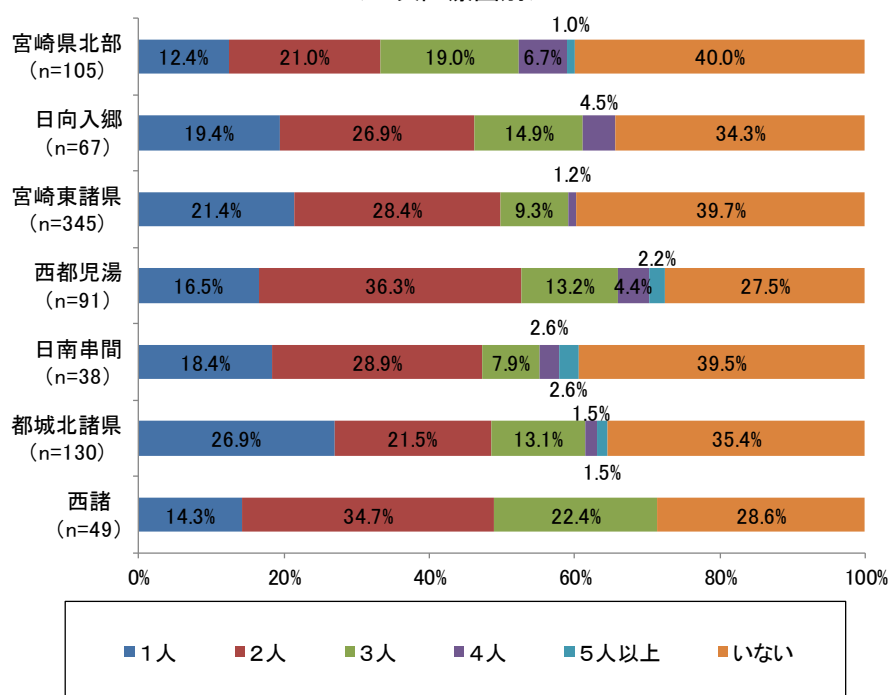
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



○予定している子ども数(現在の子ども数も含む)

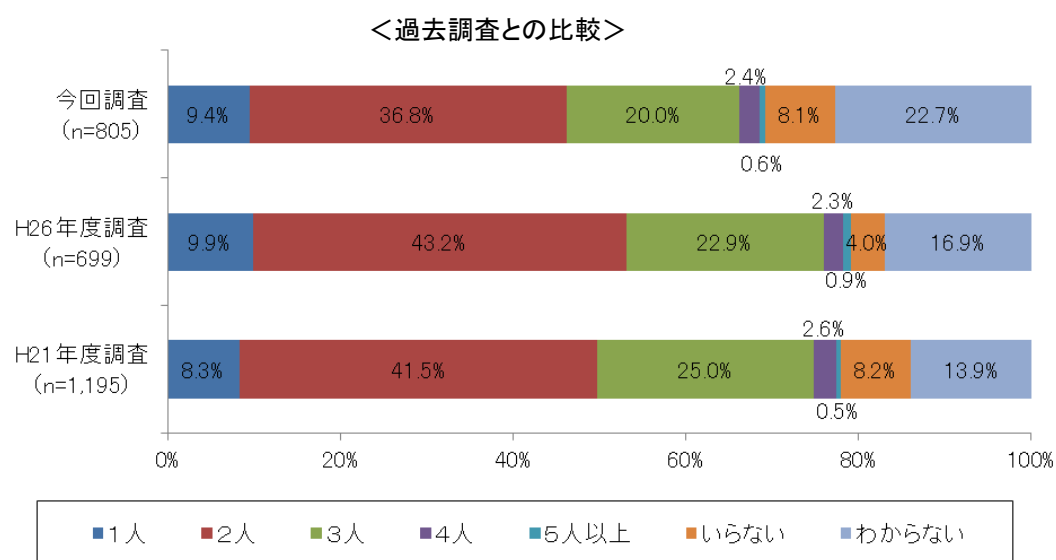
「2人」の割合(36.8%)が最も高くなっている。

過去調査との比較では、概ね同様の結果を示している。その中で、「2人」と「3人」は減少傾向を示しており、「わからない」は増加傾向を示している。

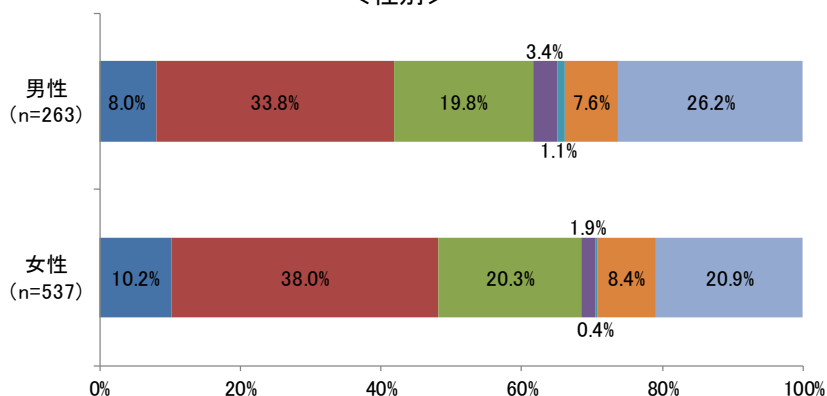
性別では、男女とも「2人」の割合が最も高くなっている。

年代別では、「全体」と概ね同じ傾向を示しているが、20歳代は「わからない」が第1位(33.8%)となっている。

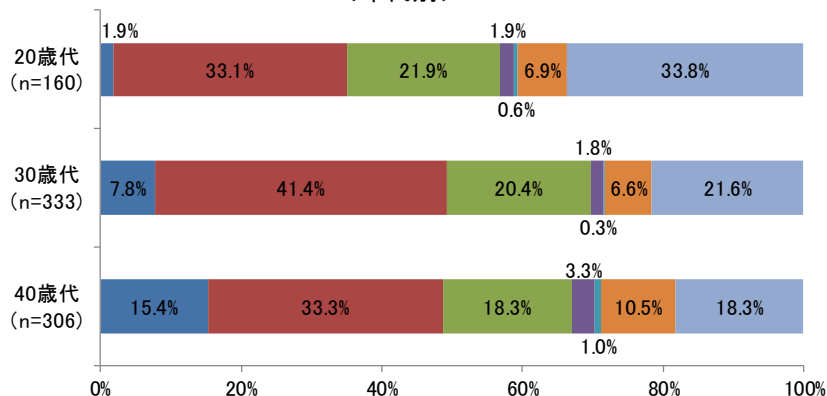
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向を示している。その中で、都城北諸県と西諸で「3人」の割合(約3割)が他の圏域よりも高くなっている。



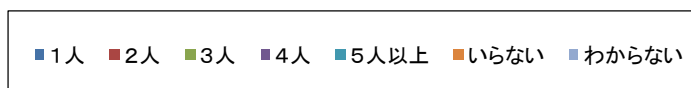
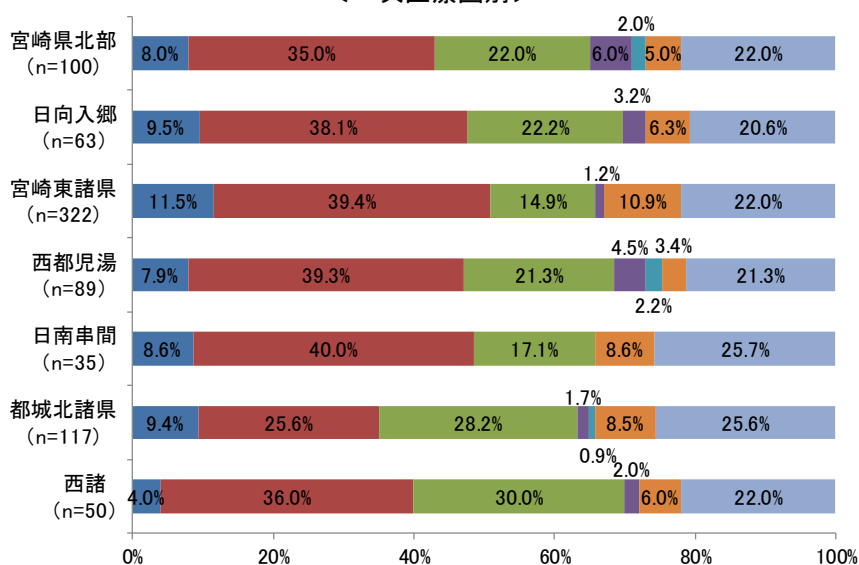
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



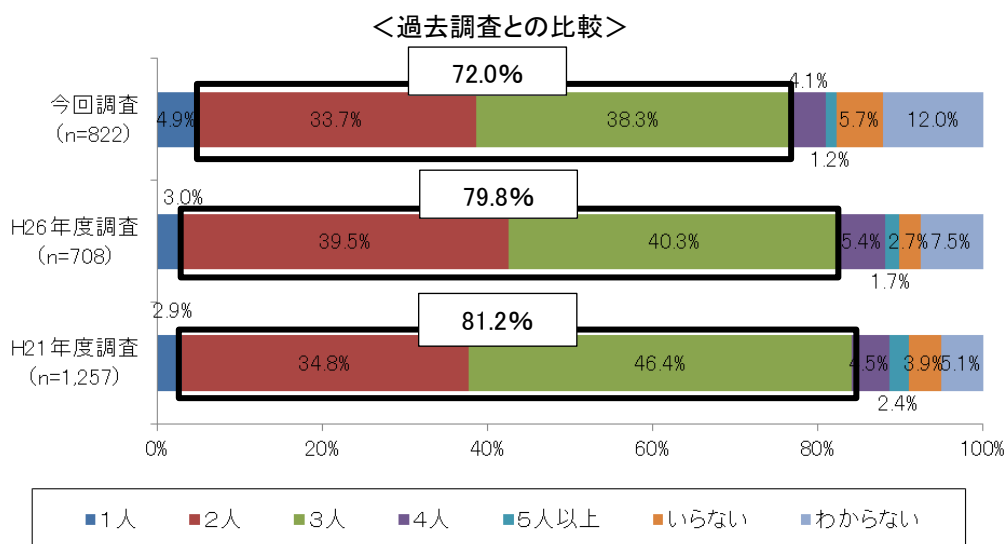
○理想としている子ども数(現在の子ども数を含む)

「3人」の割合(38.3%)が最も高く、次に「2人」(33.7%)となっており、両者で72.0%を占めているが、過去調査よりも低下している。なお、「わからない」は過去調査と比べると割合が高くなっている。

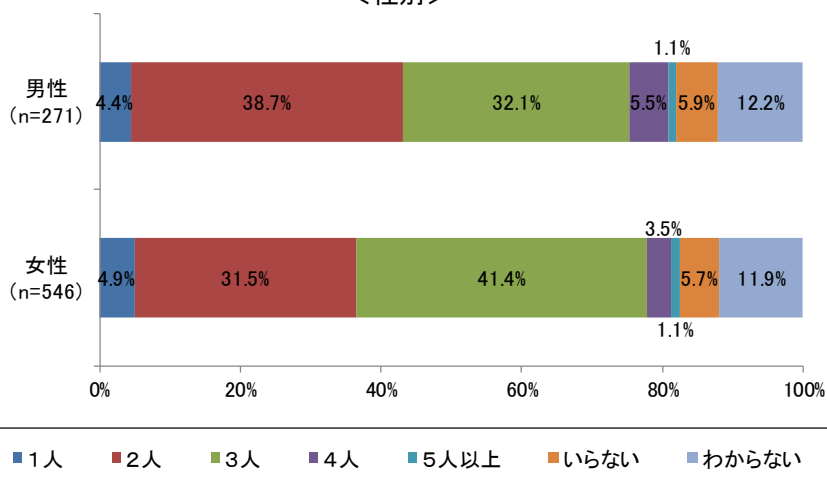
性別で見ると、男性は「2人」(38.7%)の割合、女性は「3人」(41.4%)の割合が最も高くなっている。

年代別では、30歳代と40歳代はともに「3人」(30歳代:42.6%、40歳代:35.7%)の割合が「2人」(30歳代:34.7%、40歳代:30.9%)を上回っている。

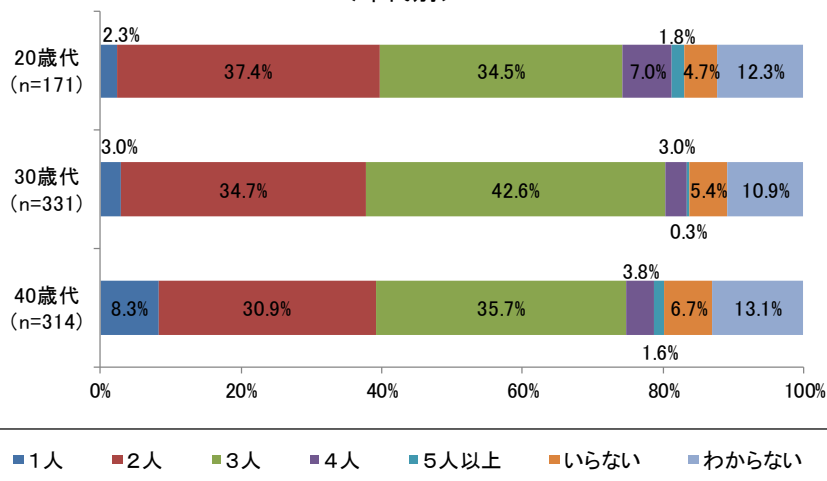
二次医療圏別では、宮崎県北部、日向入郷、西都児湯、都城北諸県、西諸で「3人」の割合(4割台前半)、そして、宮崎東諸県、日南串間は「2人」(3割台後半)の割合が最も高くなっている。



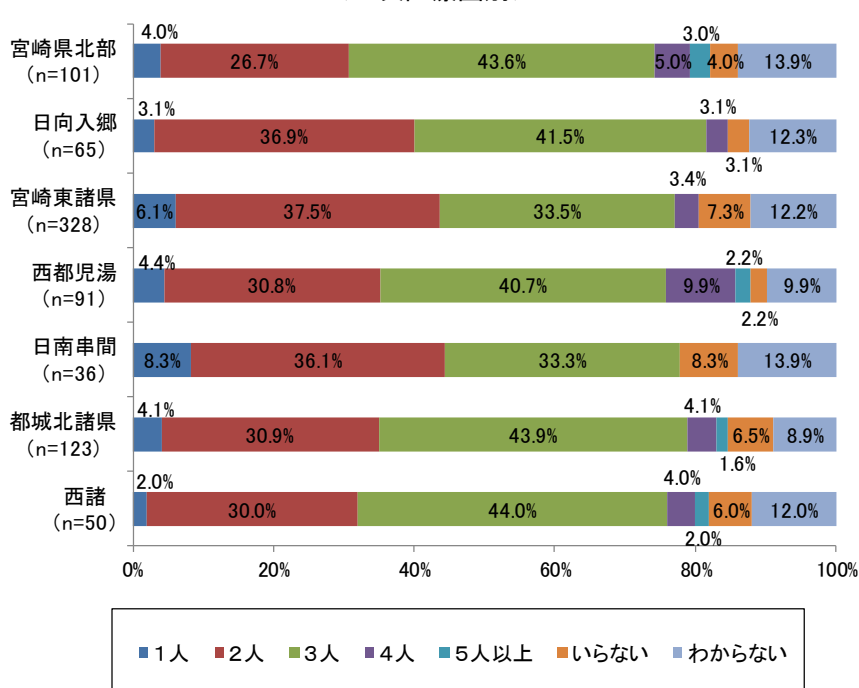
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



問11 問10「予定している子どもの数」又は「理想としている子どもの数」で「いない」を選ばれた方におうかがいします。

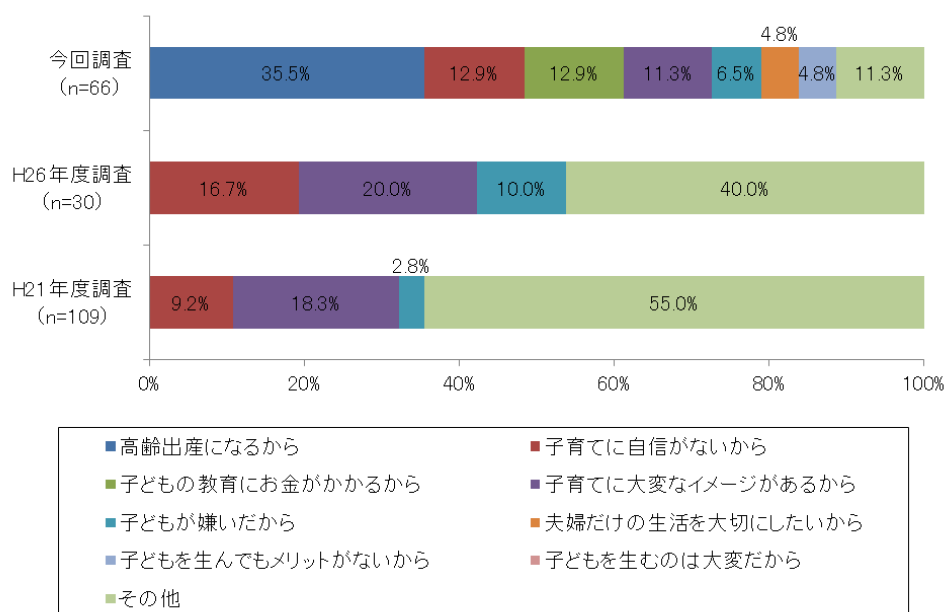
子どもは「いない」と考える具体的な理由は何ですか。(○は1つ)

「高齢出産になるから」の割合(35.5%)が最も高くなっている。

性別でも全体と同じ傾向を示している。その中で、男性は「子育てに大変なイメージがあるから」の割合(20.0%)が女性(7.1%)を大きく上回っている。

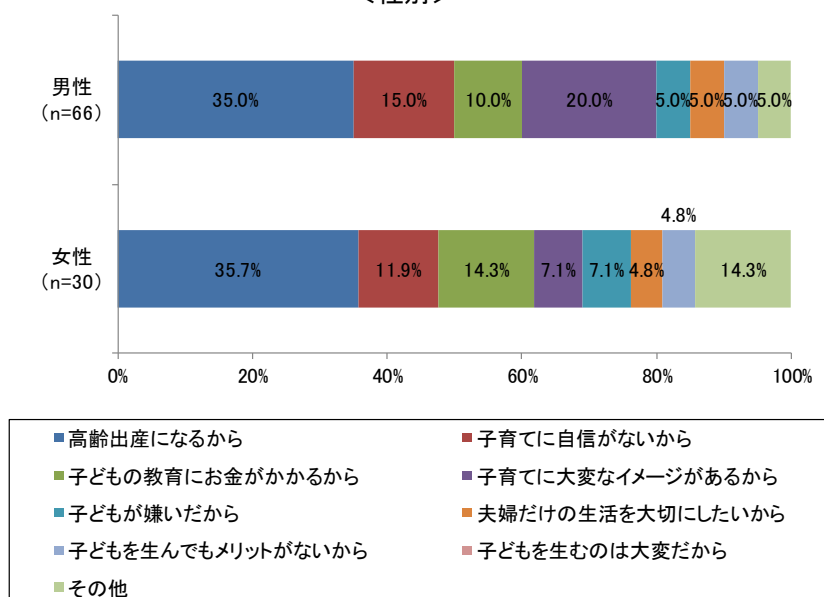
※年代別と二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

<過去調査との比較>

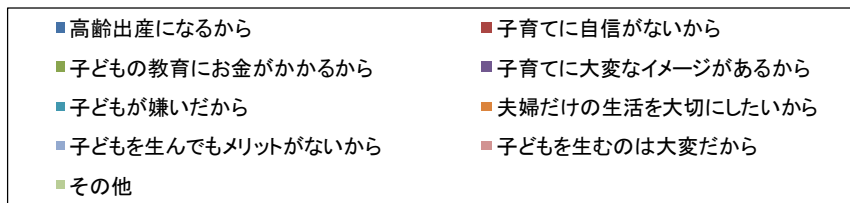
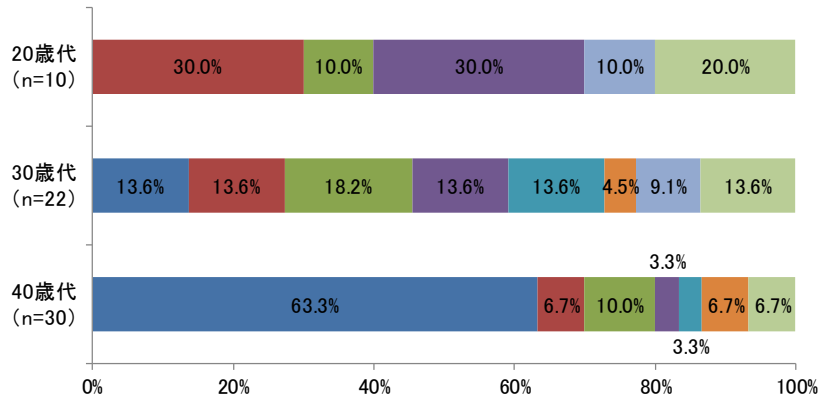


※「高齢出産になるから」は今回調査から追加した項目。

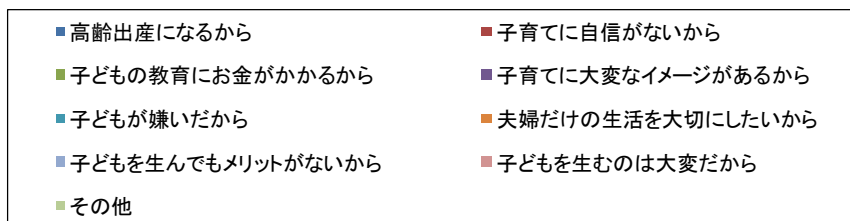
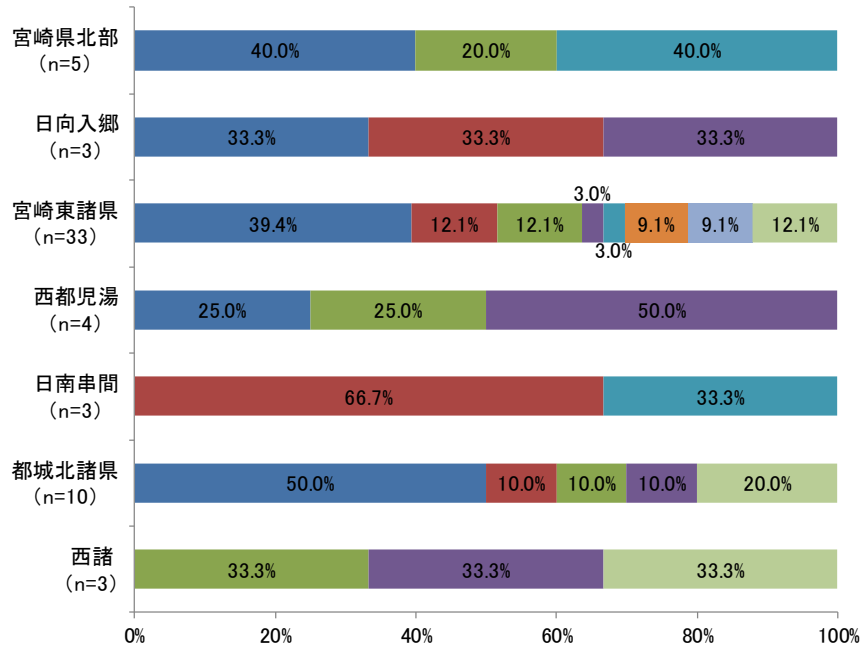
<性別>



<年代別> (参考)



<二次医療圏別> (参考)



問12 問10「予定している子どもの数」が、「理想としている子どもの数」より少ない方におうかがいします。そのように思っているのはなぜですか。(3つまで○)

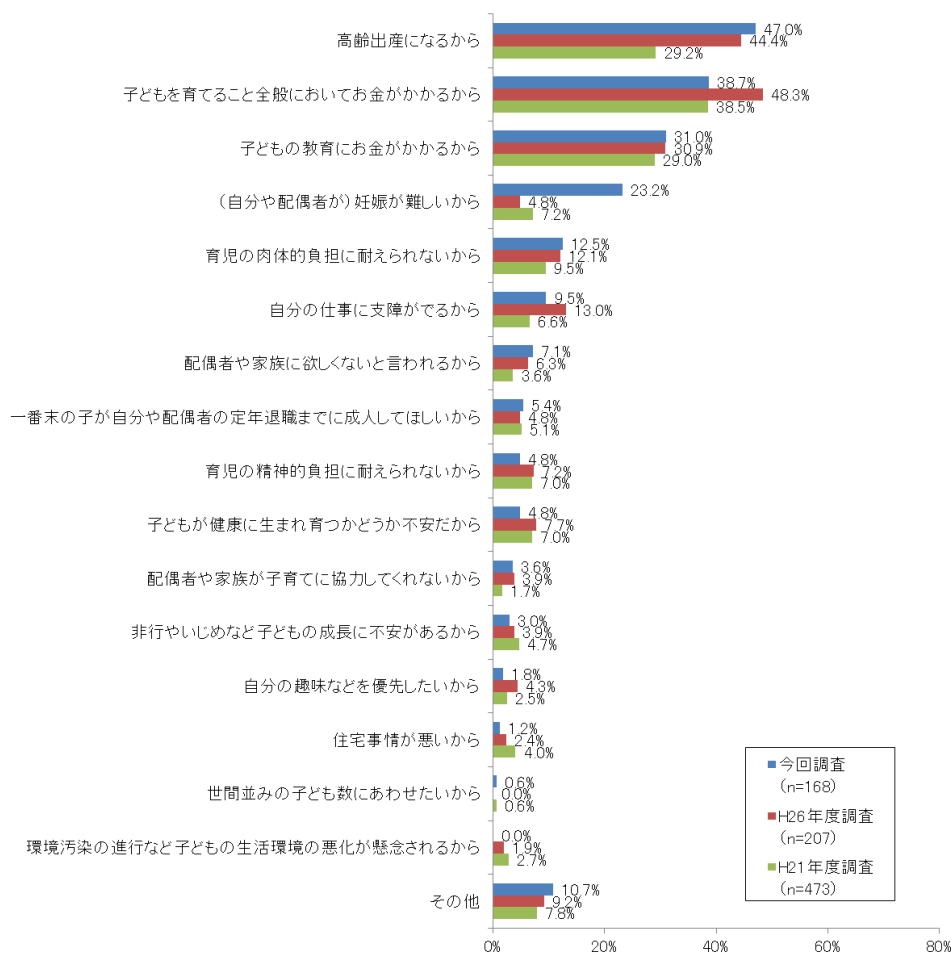
第1位「高齢出産になるから」(47.0%)、第2位「子どもを育てること全般においてお金がかかるから」(38.7%)、第3位「子どもの教育にお金がかかるから」(31.0%)となっている。

過去調査と比較すると、理由の順位は概ね同様となっているが、「(自分や配偶者が)妊娠が難しいから」(23.2%)の理由の割合が今回は高くなっている。

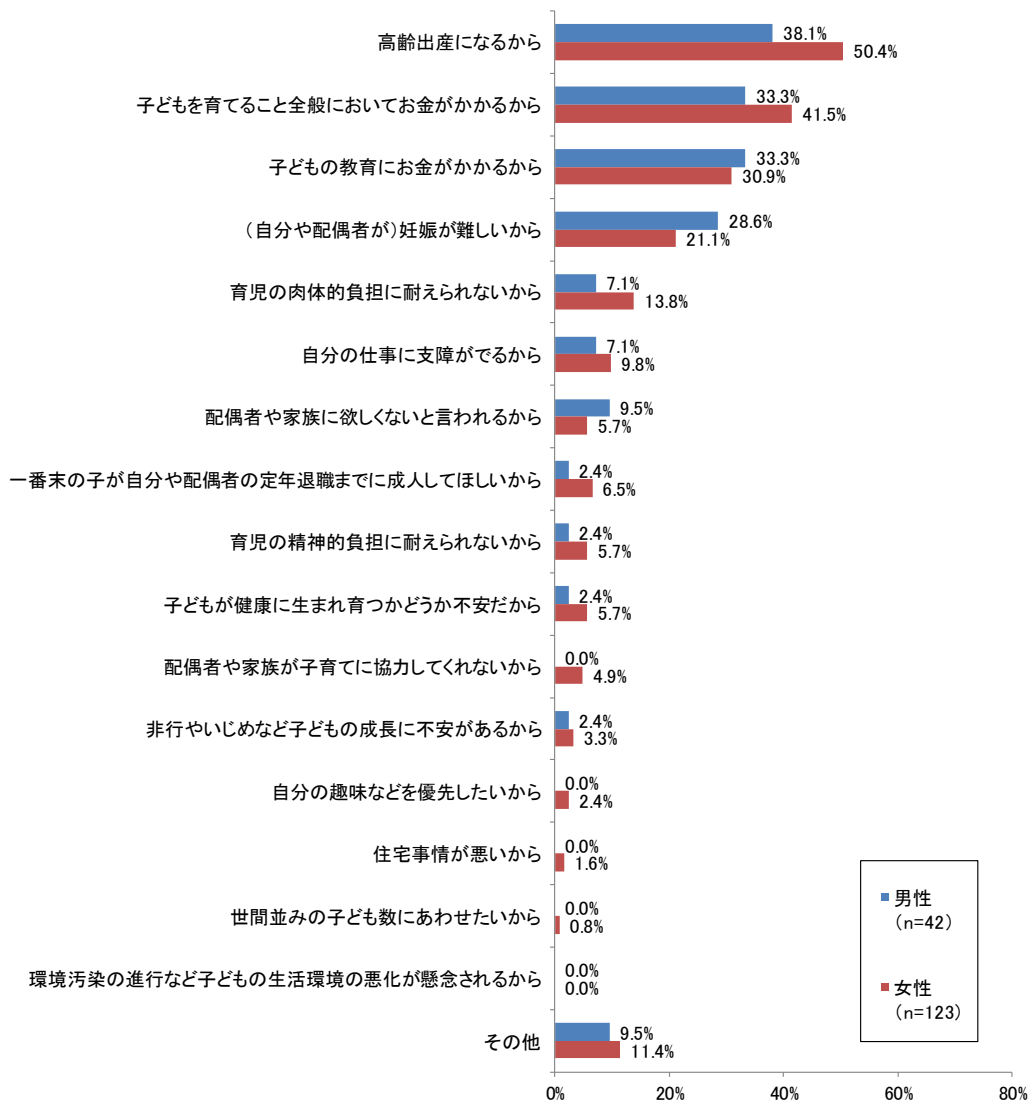
性別では、男女ともに理由の上位は概ね同様の傾向となっている。その中で「高齢出産になるから」は女性は50.4%であり、男性の38.1%を12.3ポイント上回っている。

※年代別と二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

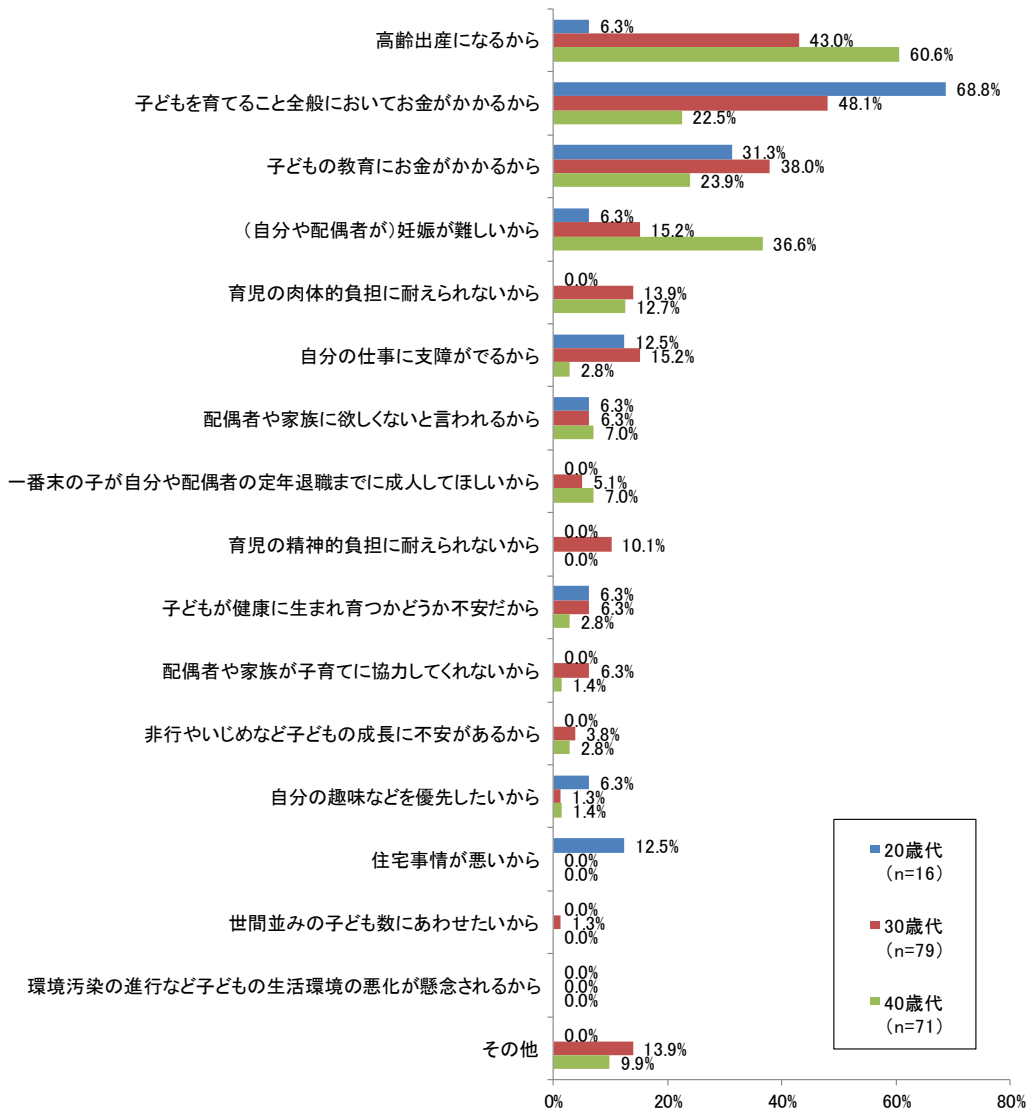
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別> (参考)



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=26)	日向入郷 (n=12)	宮崎東諸県 (n=72)	西都児湯 (n=24)	日南串間 (n=4)	都城北諸県 (n=19)	西諸 (n=6)
高齢出産になるから	50.0%	50.0%	48.6%	41.7%	0.0%	42.1%	83.3%
子どもを育てること全般においてお金がかかるから	38.5%	16.7%	40.3%	50.0%	75.0%	42.1%	16.7%
子どもの教育にお金がかかるから	19.2%	41.7%	31.9%	29.2%	25.0%	52.6%	16.7%
(自分や配偶者が)妊娠が難しいから	15.4%	58.3%	22.2%	16.7%	25.0%	31.6%	0.0%
育児の肉体的負担に耐えられないから	11.5%	8.3%	12.5%	20.8%	25.0%	0.0%	16.7%
自分の仕事に支障がでるから	3.8%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%	5.3%	16.7%
配偶者や家族に欲しくないとと言われるから	3.8%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	5.3%	0.0%
一番末の子が自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	0.0%	0.0%	4.2%	20.8%	0.0%	5.3%	0.0%
育児の精神的負担に耐えられないから	7.7%	0.0%	2.8%	12.5%	0.0%	5.3%	0.0%
子どもが健康に生まれ育つかどうか不安だから	7.7%	0.0%	1.4%	8.3%	25.0%	5.3%	16.7%
配偶者や家族が子育てに協力してくれないから	0.0%	0.0%	2.8%	4.2%	0.0%	10.5%	0.0%
非行やいじめなど子どもの成長に不安があるから	3.8%	0.0%	4.2%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
自分の趣味などを優先したいから	3.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
住宅事情が悪いから	3.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
世間並みの子ども数にあわせたいから	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
環境汚染の進行など子どもの生活環境の悪化が懸念されるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.4%	16.7%	8.3%	4.2%	0.0%	10.5%	50.0%

4. 出生数の減少に関することについておたずねします。

問13 あなたは、出生率が低下傾向にある原因は何だと思いますか。(3つまで○)

第1位「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(54.4%)、第2位「平均的な結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えている」(50.2%)、第3位「仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない」(49.1%)となっている。

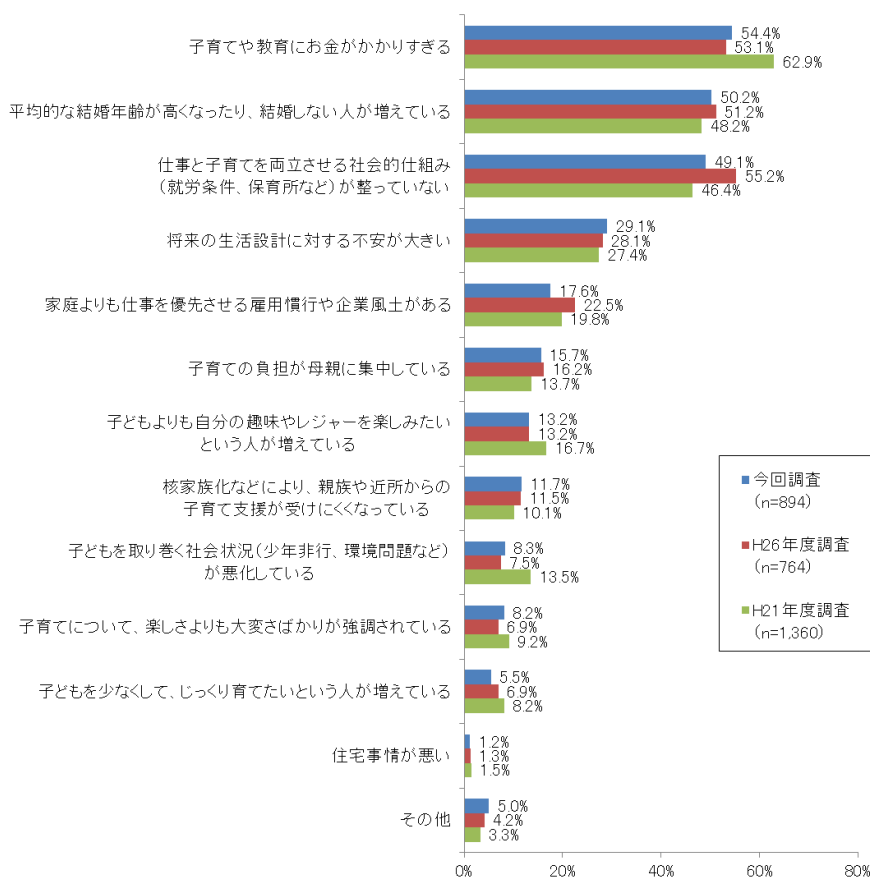
過去調査との比較では、上位の項目は概ね同様の傾向となっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向となっている。その中で男性は、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」や「将来の生活設計に対する不安が大きい」などの経済的理由が女性を上回っている。一方、女性は「仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない」や「子育ての負担が母親に集中している」といった子育てに関する理由が男性を上回っている。

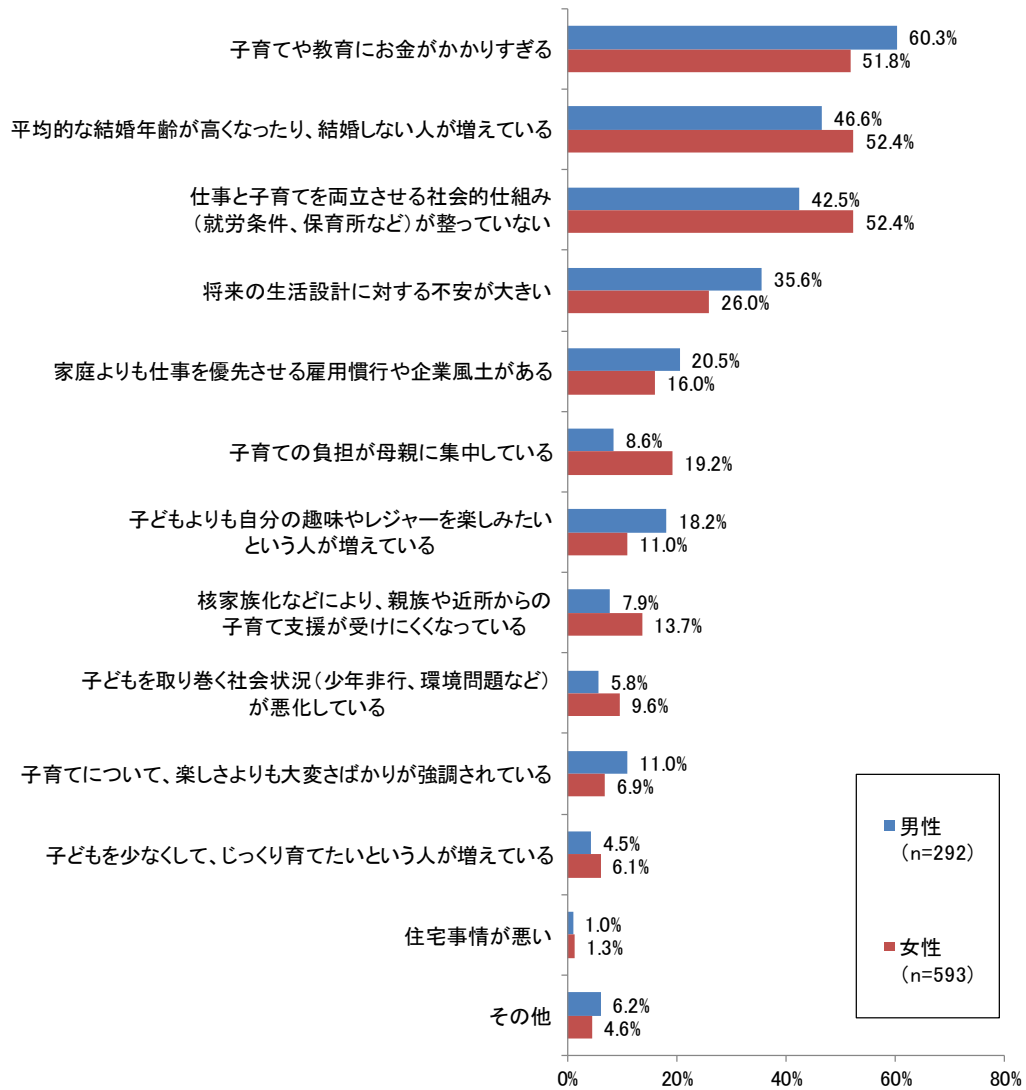
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向となっている。

二次医療圏別では、上位3項目はいずれの圏域も概ね同様の傾向となっている。

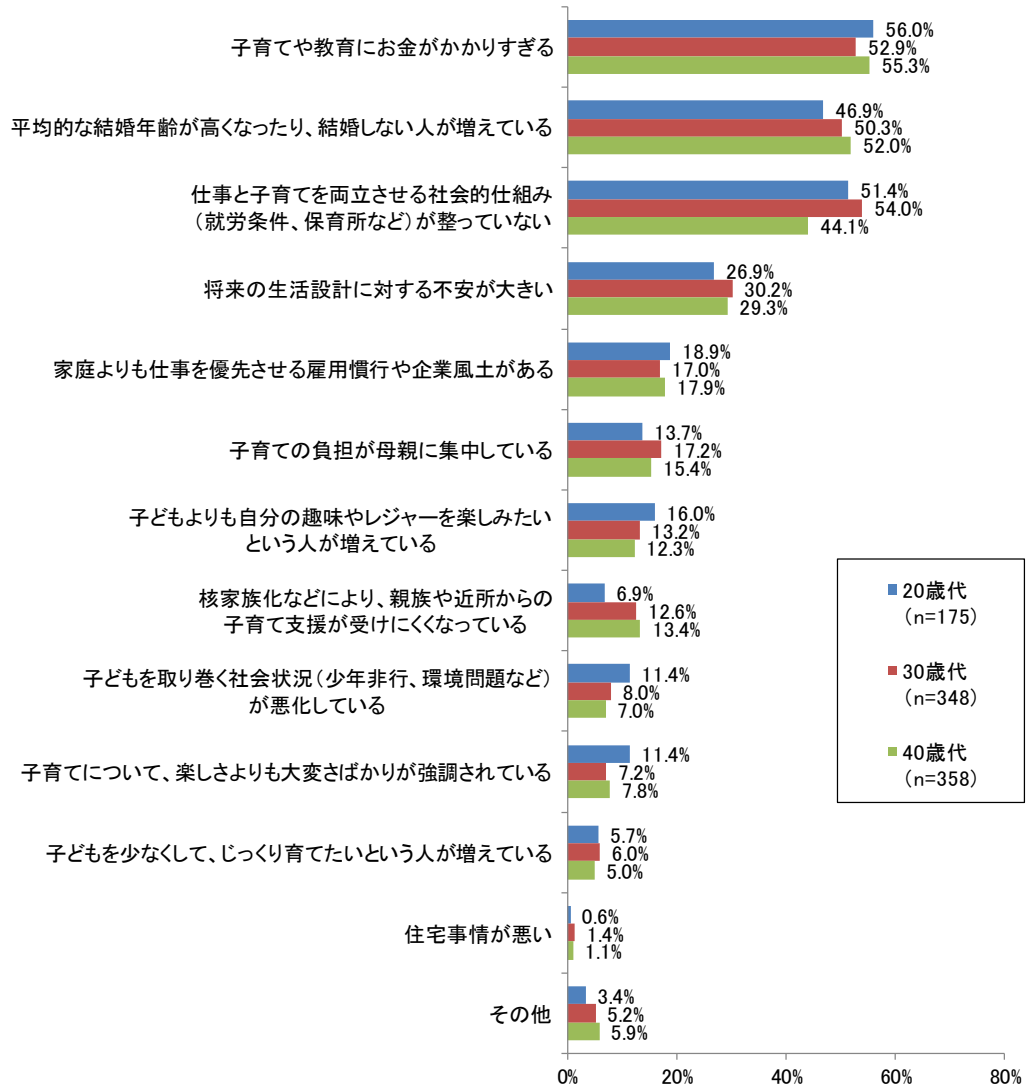
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
子育てや教育にお金がかかりすぎる	55.0%	41.7%	55.2%	47.4%	52.5%	62.0%	58.8%
平均的な結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えている	48.6%	50.0%	51.8%	56.8%	65.0%	43.1%	45.1%
仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない	53.2%	47.2%	49.6%	50.5%	37.5%	42.3%	54.9%
将来の生活設計に対する不安が大きい	30.3%	31.9%	31.0%	21.1%	22.5%	32.1%	21.6%
家庭よりも仕事を優先させる雇用慣行や企業風土がある	17.4%	19.4%	15.5%	21.1%	15.0%	18.2%	17.6%
子育ての負担が母親に集中している	14.7%	16.7%	15.2%	15.8%	25.0%	13.9%	17.6%
子どもよりも自分の趣味やレジャーを楽しみたいという人が増えている	12.8%	12.5%	13.2%	12.6%	12.5%	14.6%	13.7%
核家族化などにより、親族や近所からの子育て支援が受けにくくなっている	11.9%	16.7%	12.4%	15.8%	7.5%	6.6%	15.7%
子どもを取り巻く社会状況(少年非行、環境問題など)が悪化している	10.1%	8.3%	7.6%	5.3%	5.0%	10.9%	9.8%
子育てについて、楽しさよりも大変さばかりが強調されている	9.2%	11.1%	7.3%	9.5%	15.0%	7.3%	5.9%
子どもを少なくして、じっくり育てたいという人が増えている	2.8%	4.2%	7.0%	6.3%	2.5%	5.1%	5.9%
住宅事情が悪い	1.8%	2.8%	1.4%	1.1%	0.0%	0.7%	0.0%
その他	5.5%	11.1%	4.2%	4.2%	5.0%	6.6%	0.0%

5. 子育て環境の整備に関することについておたずねします。

問14 あなたは、現在お住まいの地域の子育て環境について、どのような印象を持っていますか。(〇は1つ)

ア 気象条件や自然環境

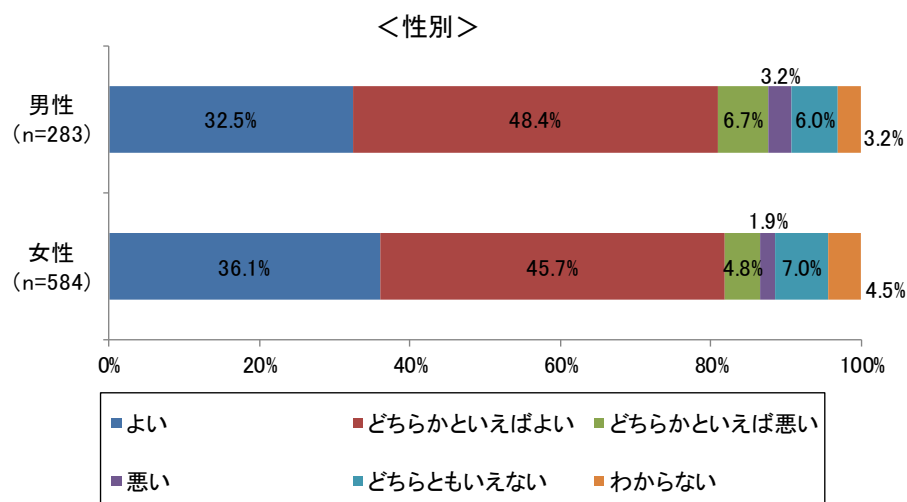
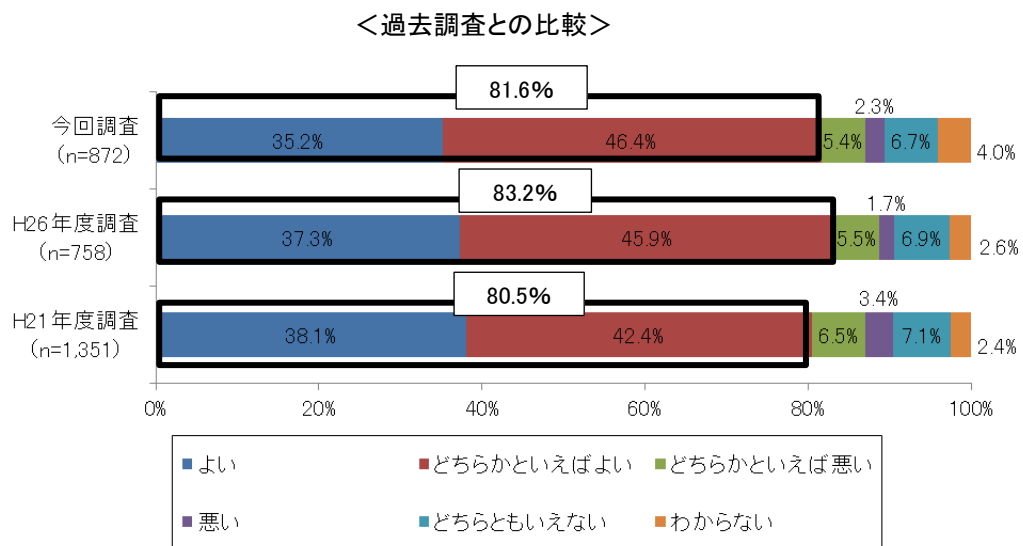
「よい」(「よい」と「どちらかといえばよい」の計:以下同じ)は81.6%、「悪い」(「悪い」と「どちらかといえば悪い」の計:以下同じ)は7.7%となっている。

過去調査との比較では、ほぼ同様の傾向となっている。

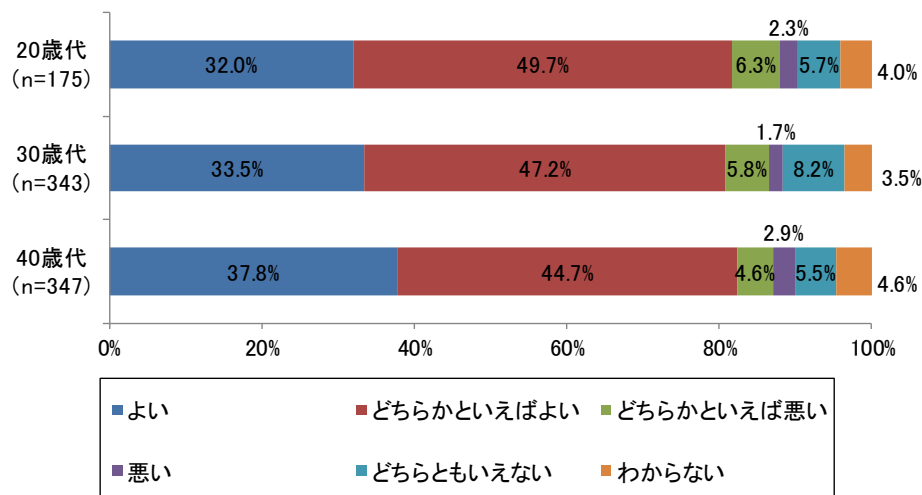
性別では、男女とも同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も同様の傾向となっている。

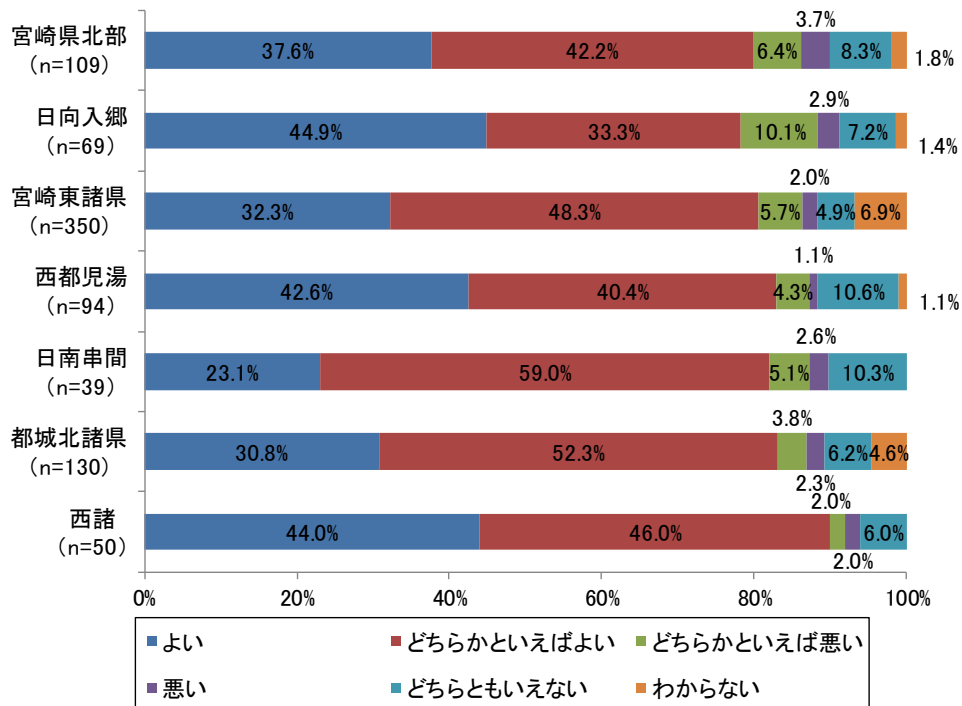
二次医療圏別では、全体と同じ傾向にある中で西諸は「よい」が全体(81.6%)を上回る9割となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



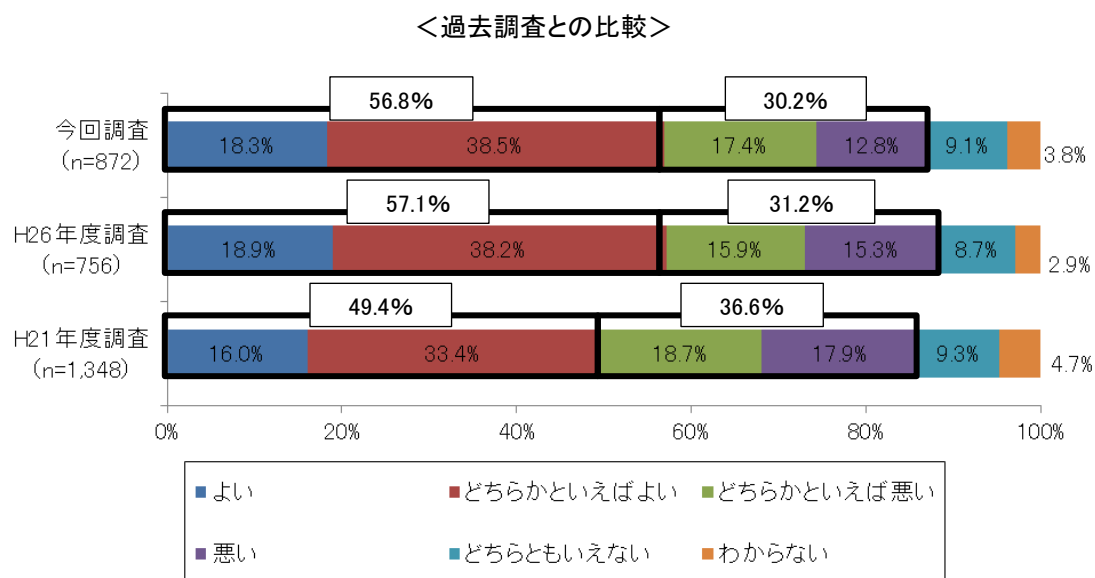
イ 公園や広場など子どもの遊び場

「よい」は56.8%、「悪い」は30.2%となっており、過去の調査と概ね同じ傾向を示している。

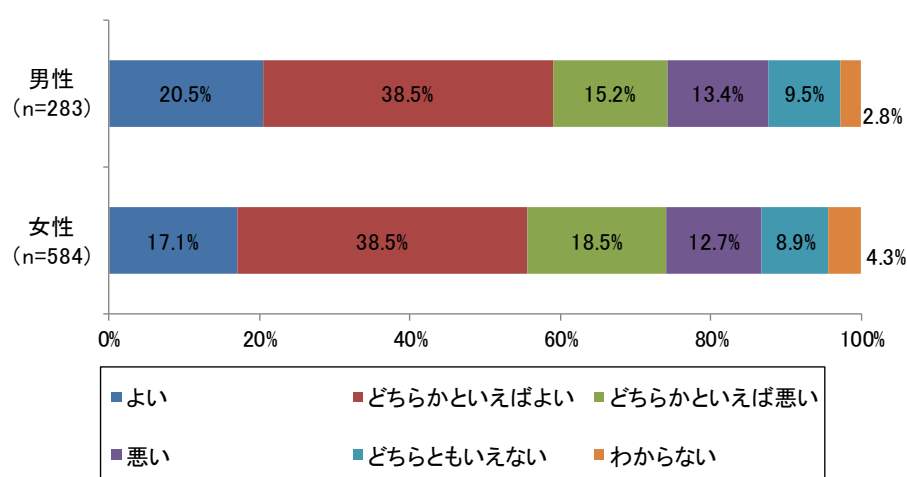
性別では、男女とも全体と同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も全体と同様の傾向となっている。

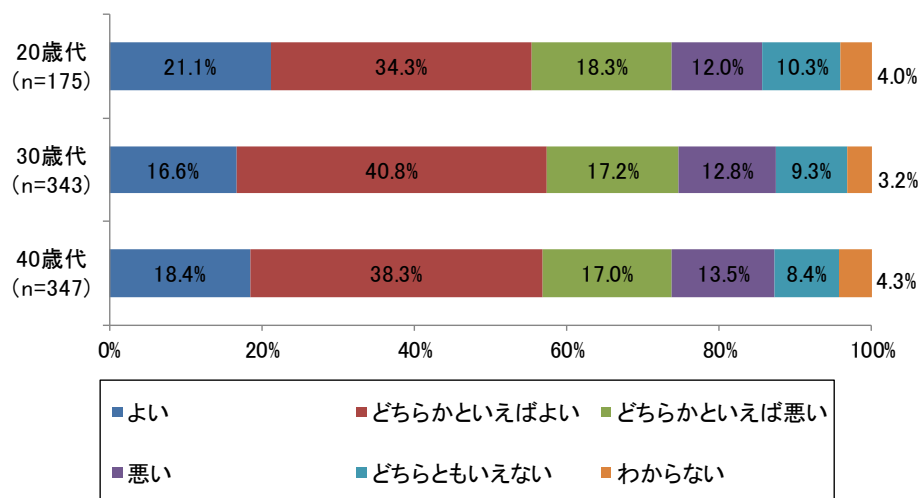
二次医療圏別では、全体とほぼ同じ傾向にあるが、日南串間は「よい」と「悪い」がほぼ同じ、西諸は「悪い」(50.0%)が「よい」(30.0%)を上回っている。



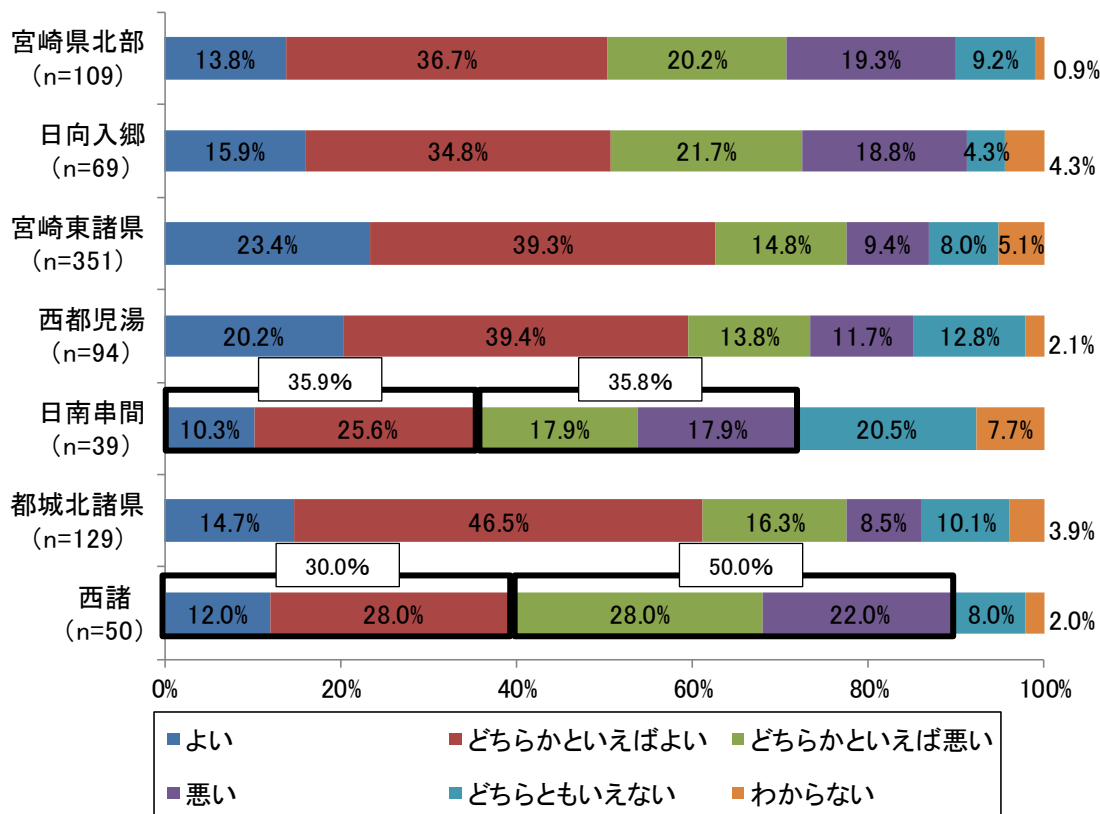
＜性別＞



<年代別>



<二次医療圏別>



ウ のびのびと学習できる環境

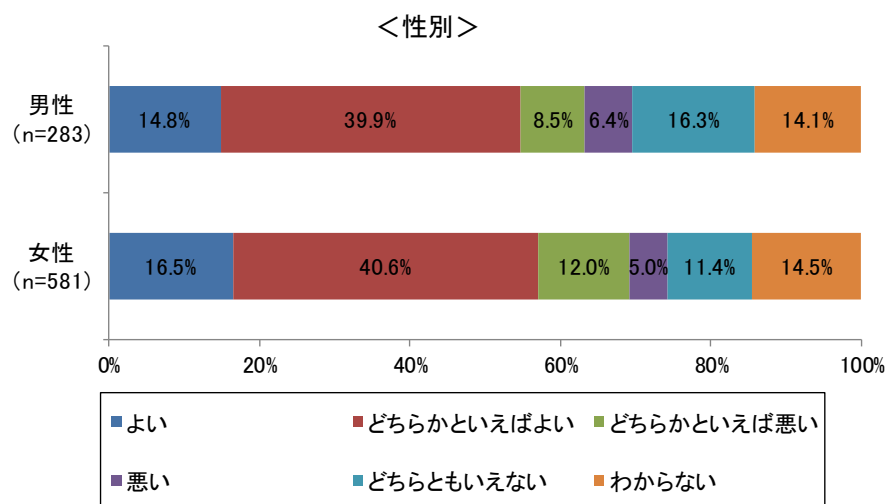
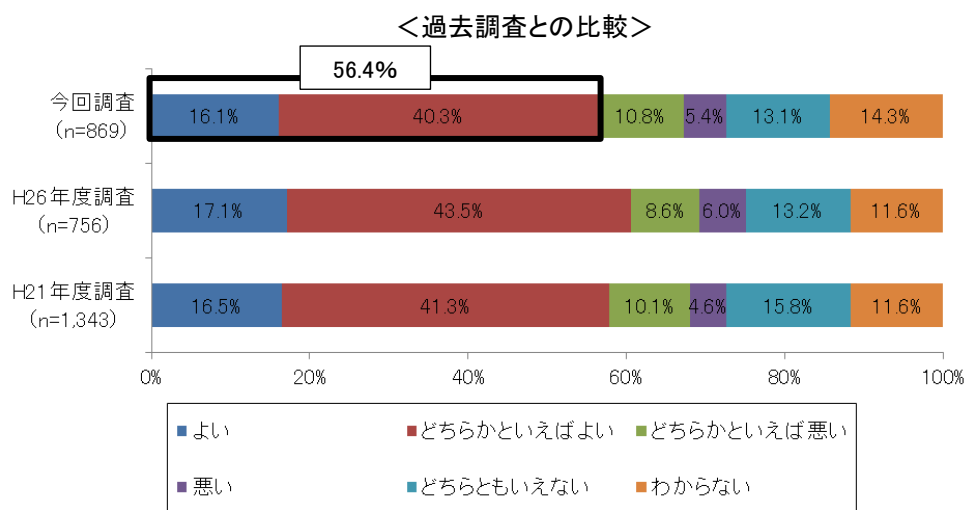
「よい」は、56.4%となっている。また、「わからない」は14.3%となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

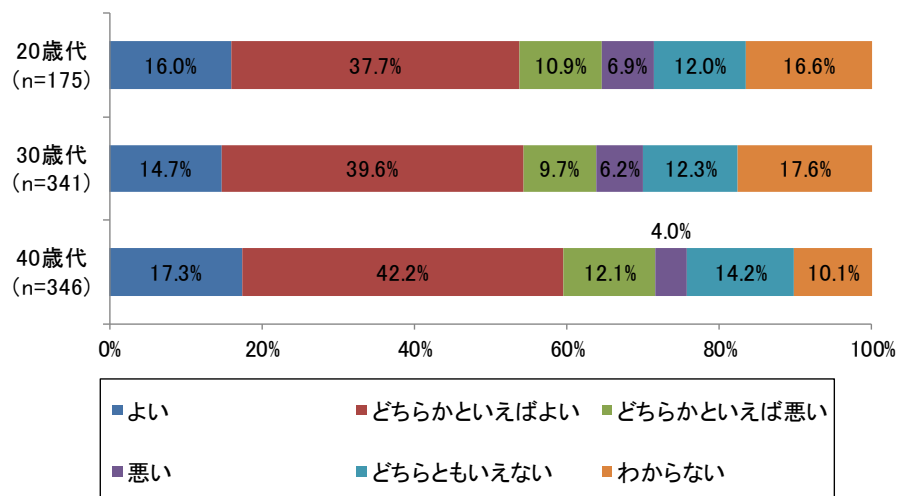
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

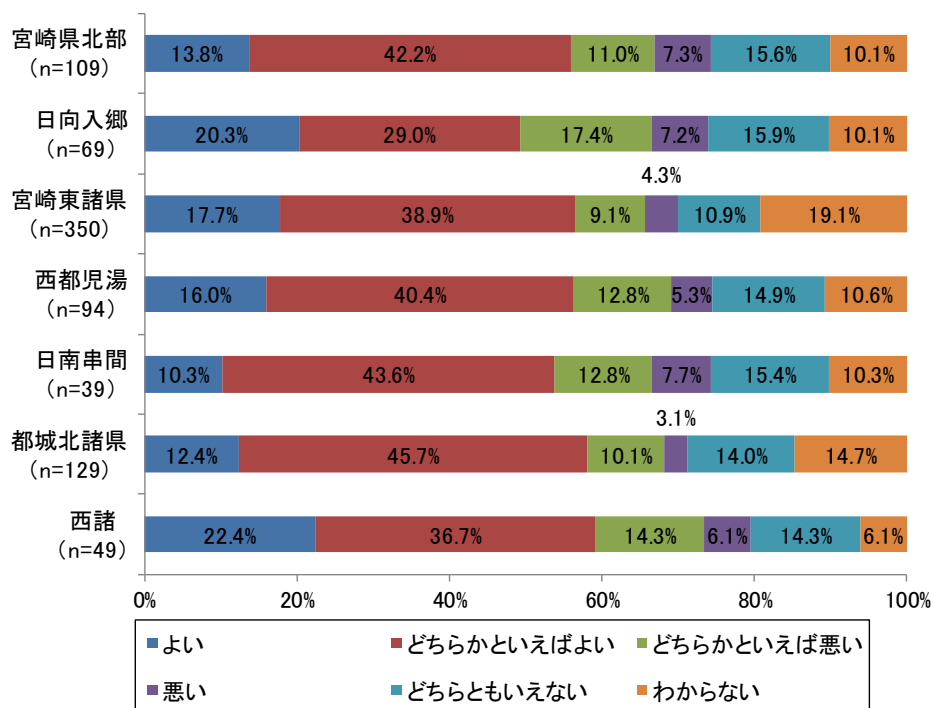
二次医療圏別では、いずれの圏域も概ね同様の傾向となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



エ 子どもが事故等にあわないような安全性

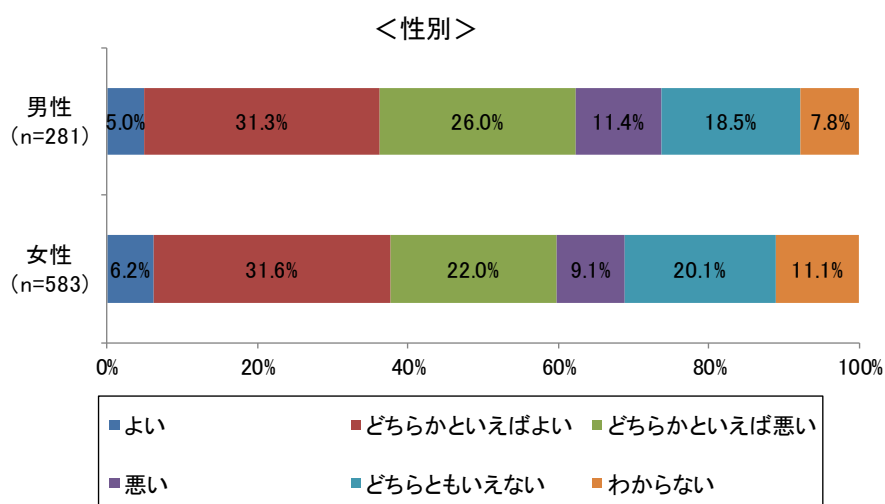
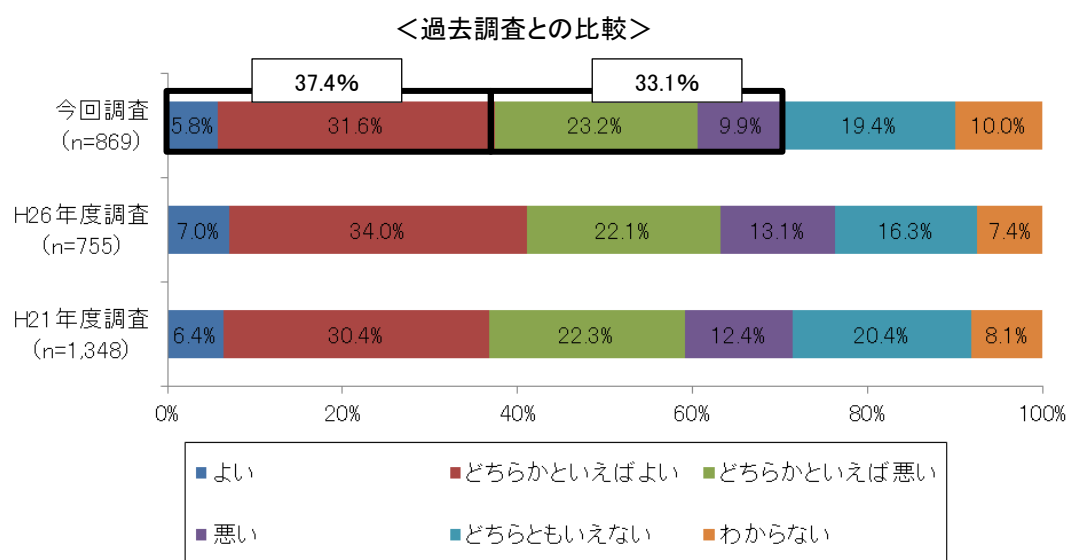
「よい」は、37.4%となっており、「悪い」は33.1%となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

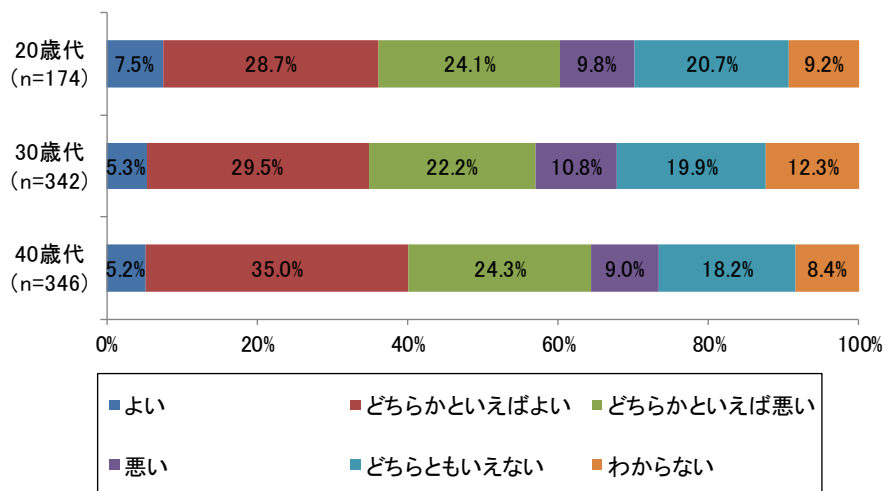
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

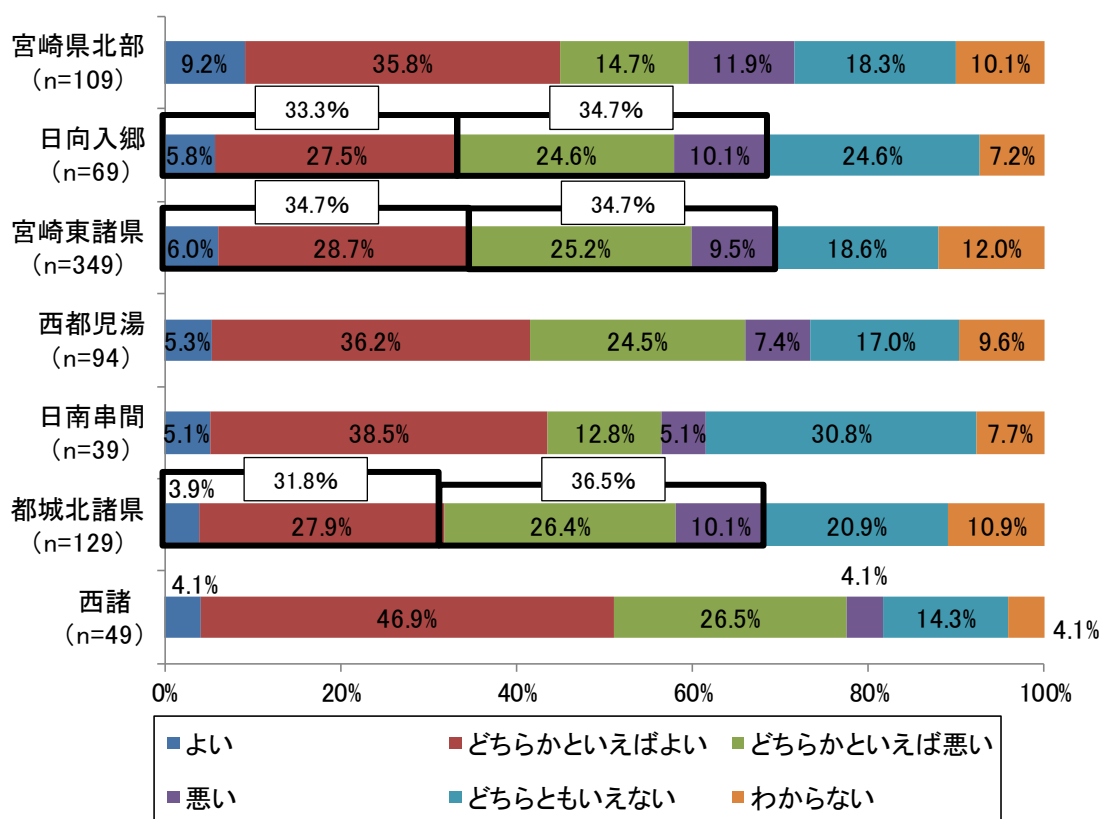
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向にある。その中で、日向入郷、宮崎東諸県で「悪い」と「良い」が同程度で、都城北諸県は「悪い」(36.5%)が「よい」(31.8%)を上回っている。



<年代別>



<二次医療圏別>



オ 育児等に関する情報

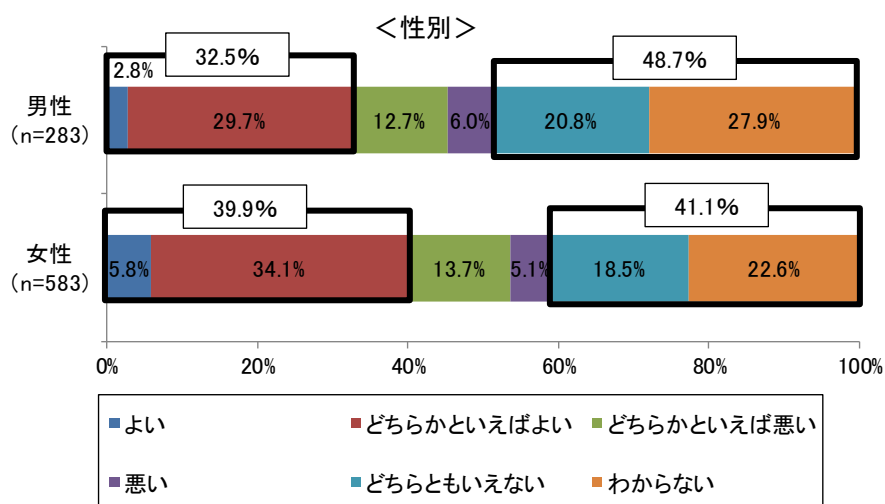
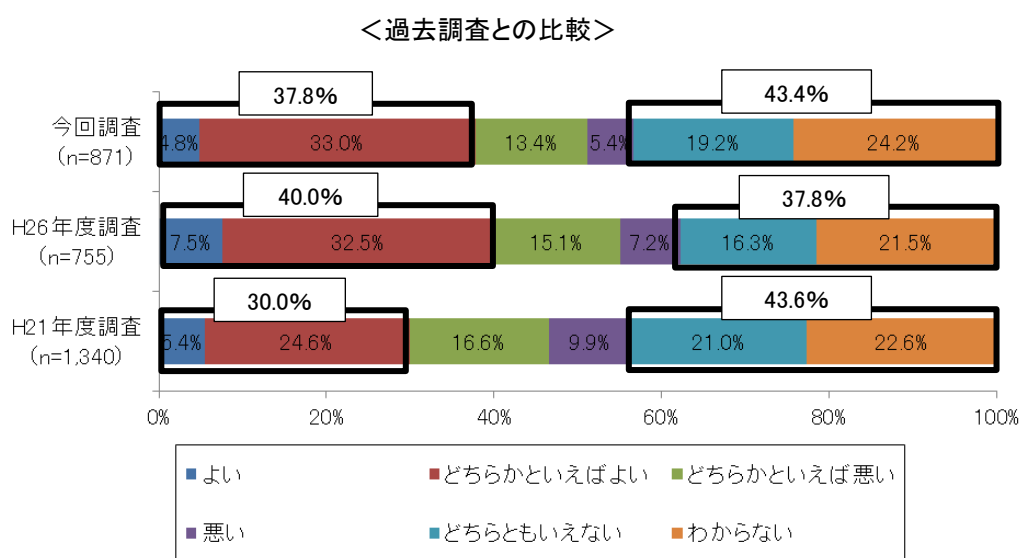
第1位は「よい」(37.8%)、第2位「わからない」(24.2%)、第3位「どちらともいえない」(19.2%)となっている。

過去調査との比較では、「よい」は30.0~40.0%であり、「どちらともいえない」と「わからない」の合計(→”判断不可能”:以下同じ)の割合を下回っている。

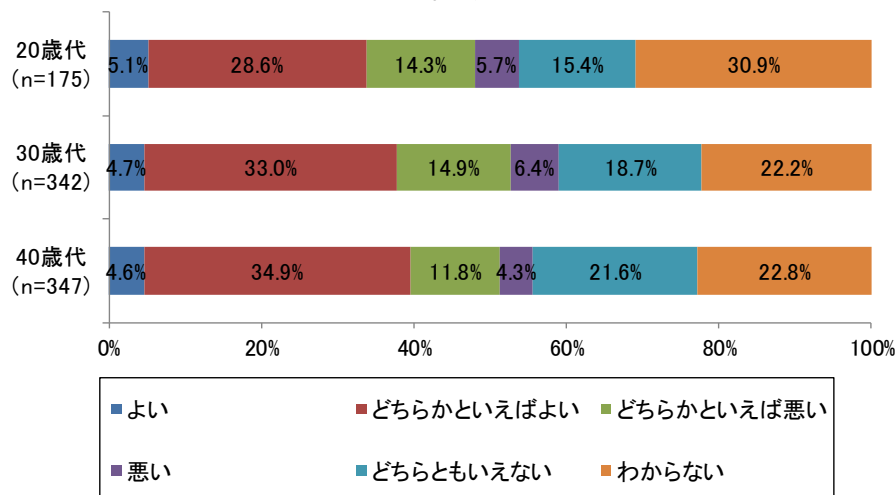
性別では、女性で「よい」が39.9%で男性の32.5%を7.4ポイント上回っている。

年代別では、20歳代で「わからない」が30.9%で他の年代よりも割合が高くなっている。

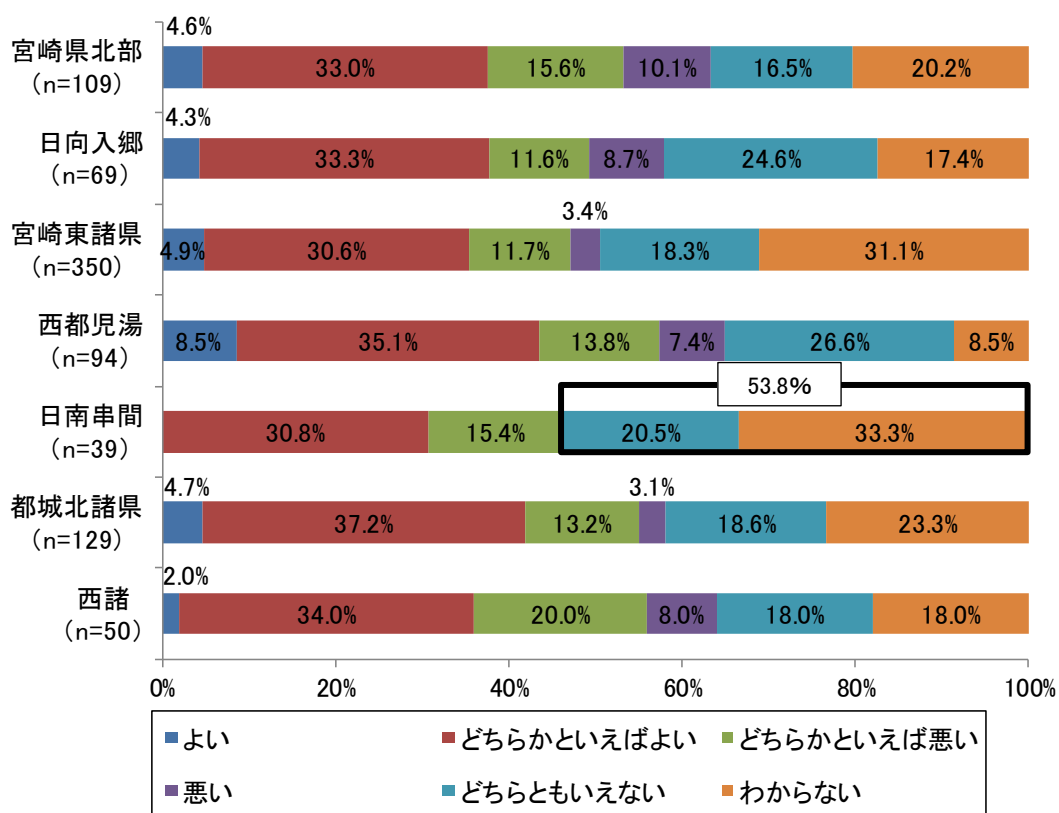
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向にあるが、日南串間は”判断不可能”が半数(53.8%)を超えている。



<年代別>



<二次医療圏別>



カ 保育所・幼稚園・認定こども園の相談体制

「よい」は、40.6%となっている。また、「わからない」が33.0%となっている。

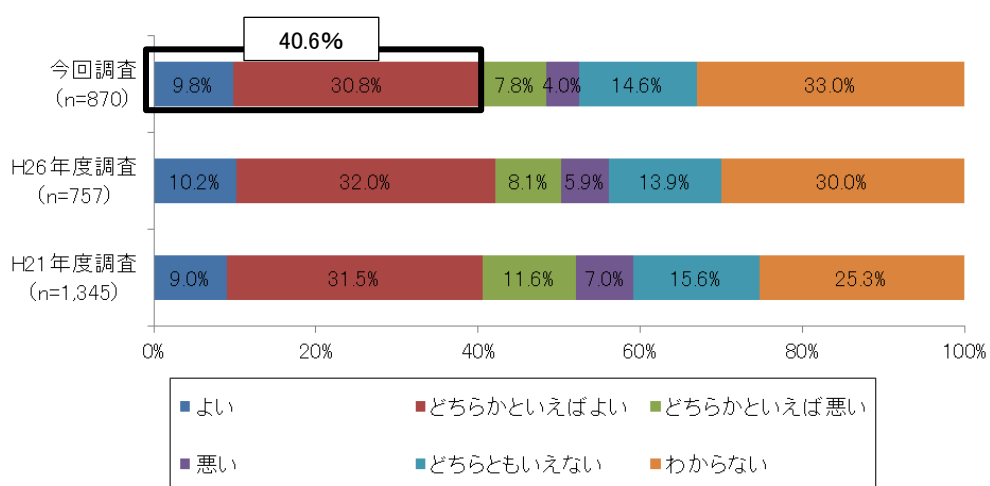
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

性別では、「よい」は女性(42.2%)で、「男性」(36.7%)を5.5ポイント上回っている。

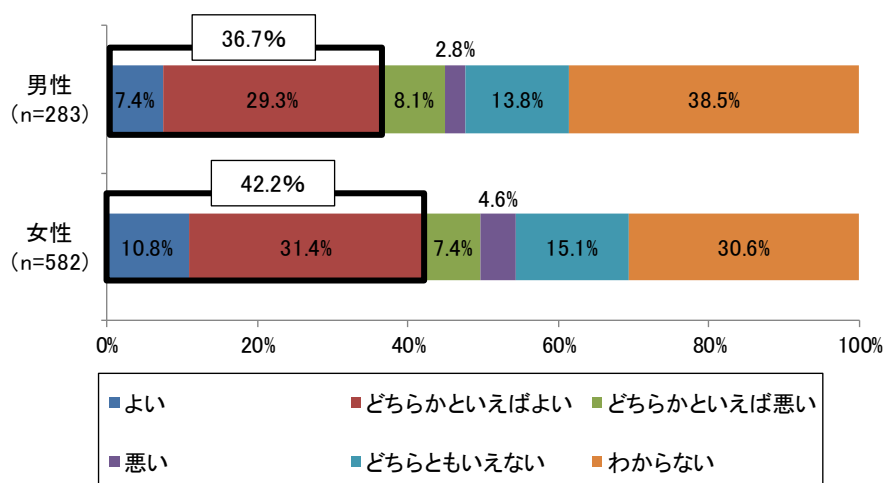
年代別では、年代が上がるにつれて「よい」の割合が高くなっており、40歳代では40.1%となっている。

二次医療圏別では、西都児湯で「よい」が47.9%で他の圏域よりも割合が高くなっている。

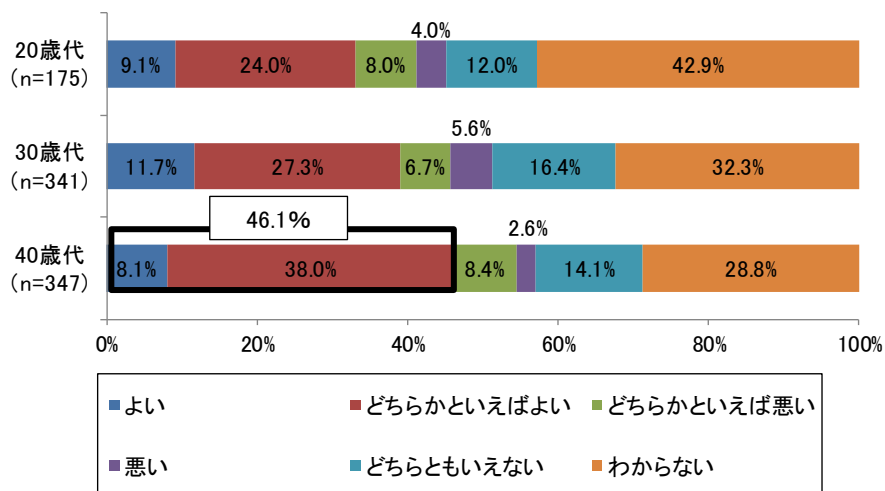
<過去調査との比較>



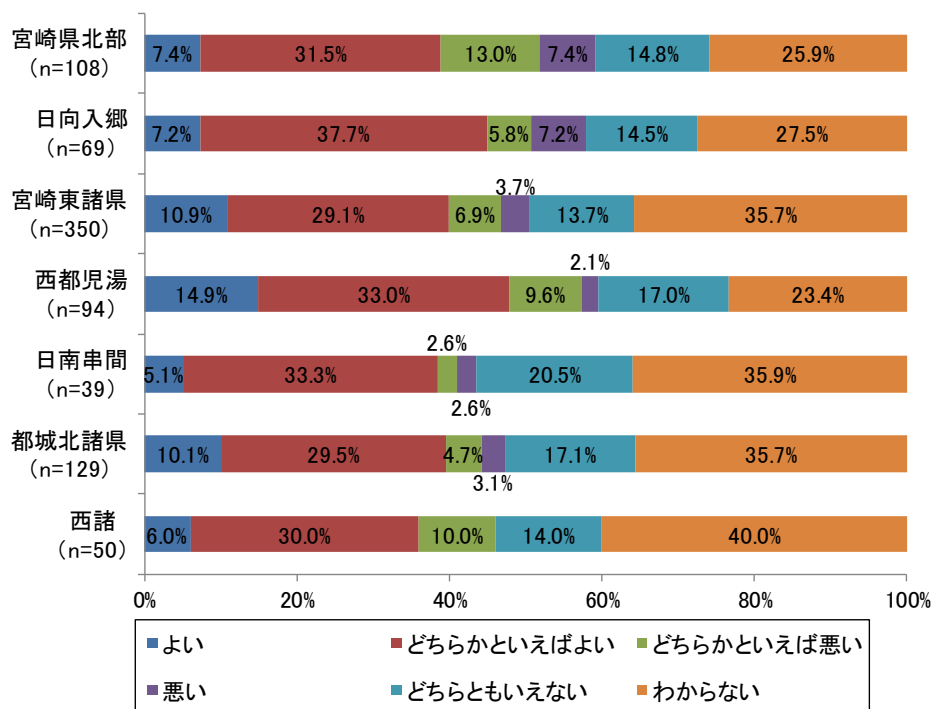
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



キ 病院・診療所などの医療施設

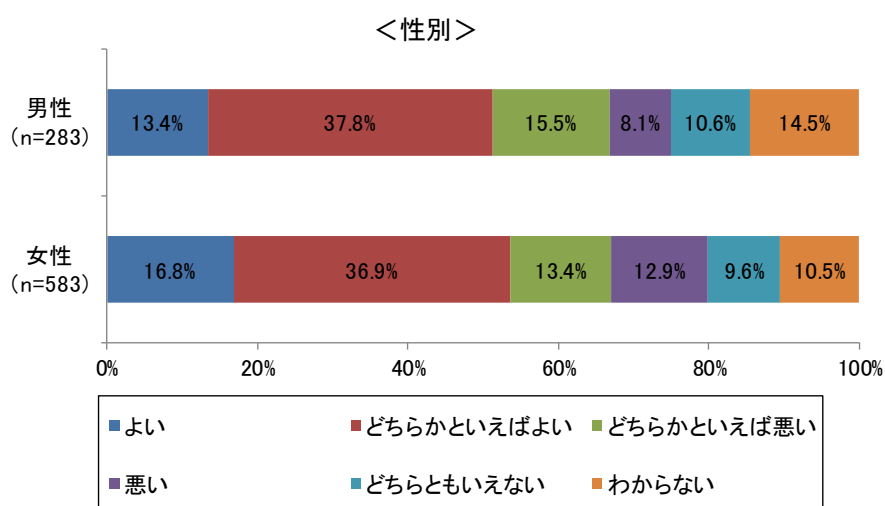
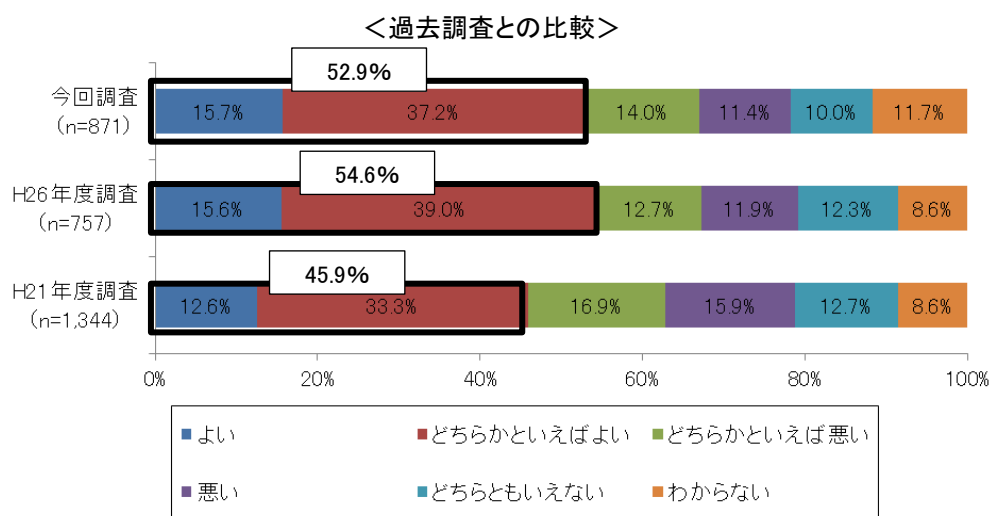
「よい」は52.9%となっている。

過去調査との比較では、「よい」が「悪い」を大きく上回る傾向が続いている。

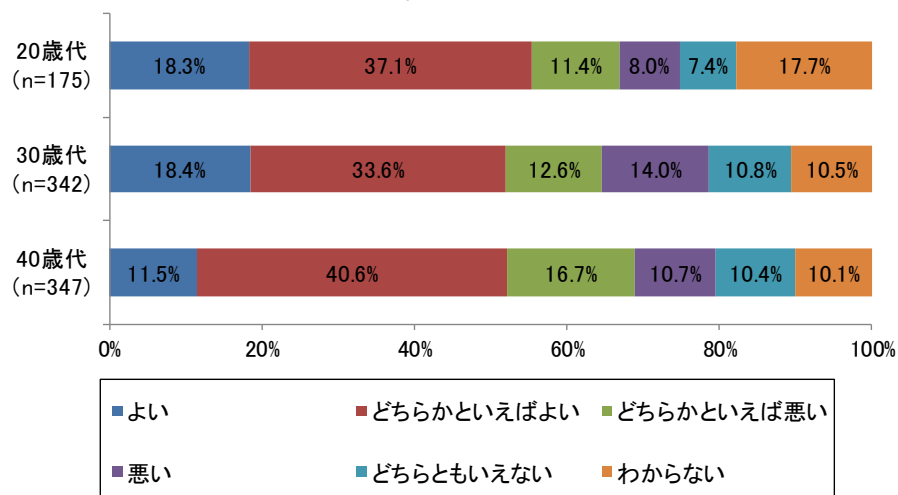
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

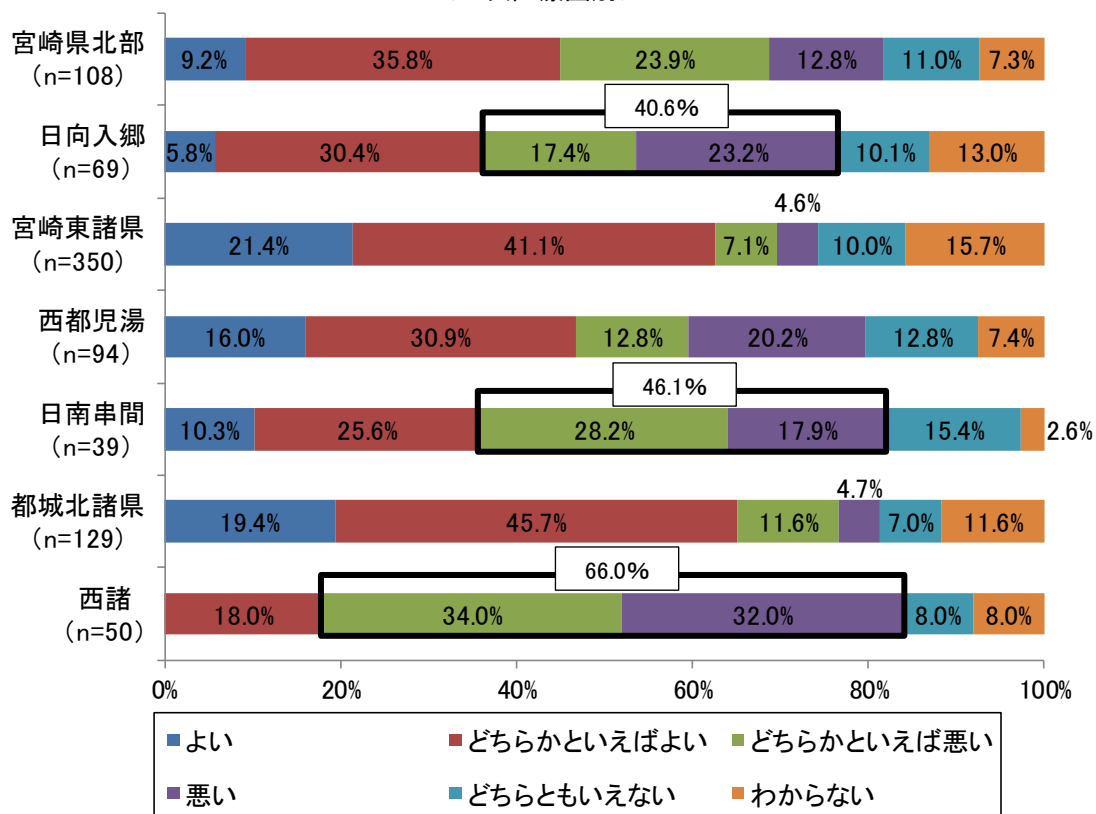
二次医療圏別では、西諸で「悪い」(66.0%)の割合が3分の2となっている。このほか、「悪い」が「よい」を上回っているのは日南串間(46.1%)、日向入郷(40.6%)となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



ク 子育てをしながらも働ける職場環境

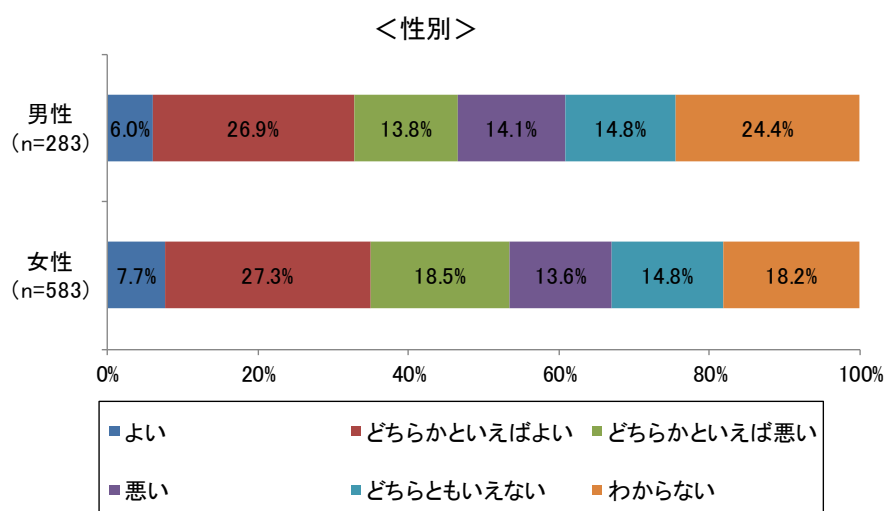
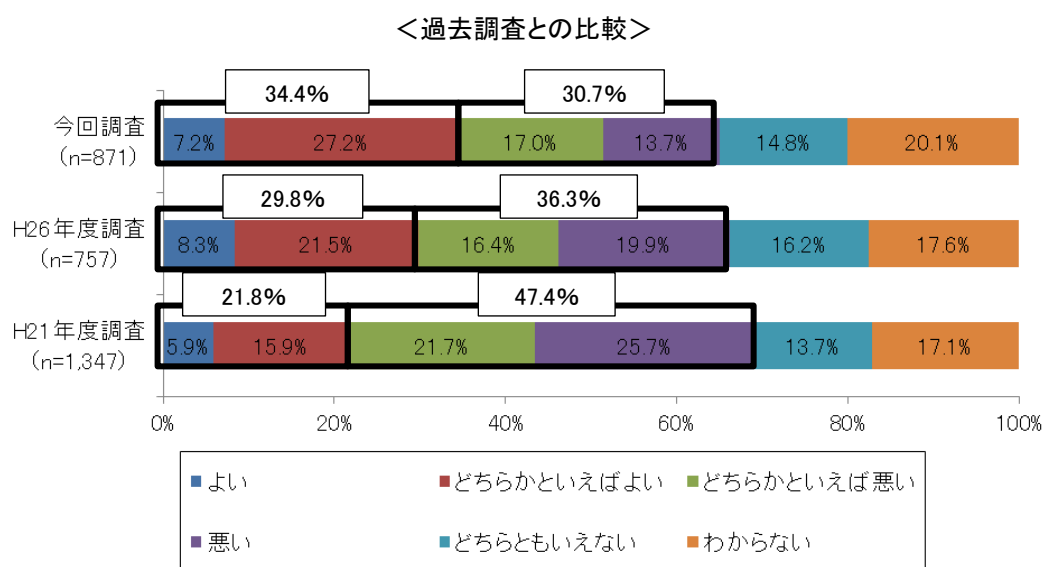
「よい」は34.4%、「悪い」は30.7%となっている。

過去調査との比較では、「よい」の割合が高まる傾向を示している。

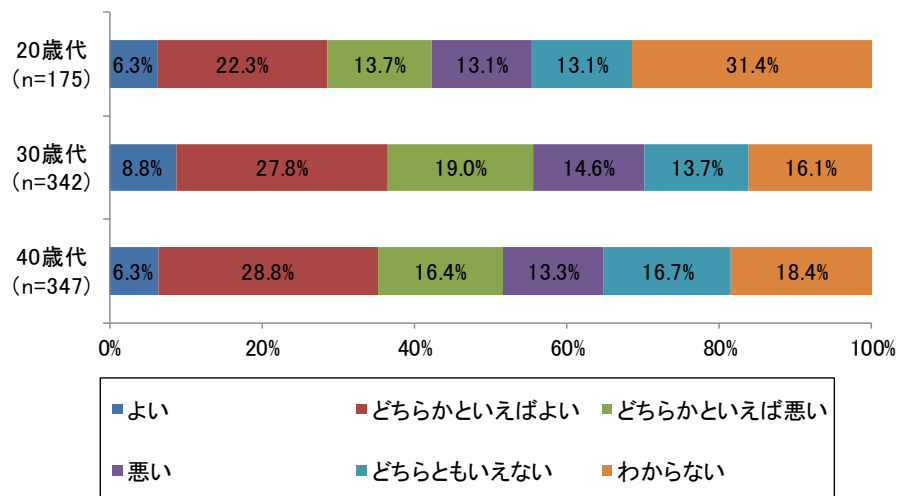
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、20歳代で「わからない」が31.4%となっているが、30歳代と40歳代は全体と概ね同様の傾向となっている。

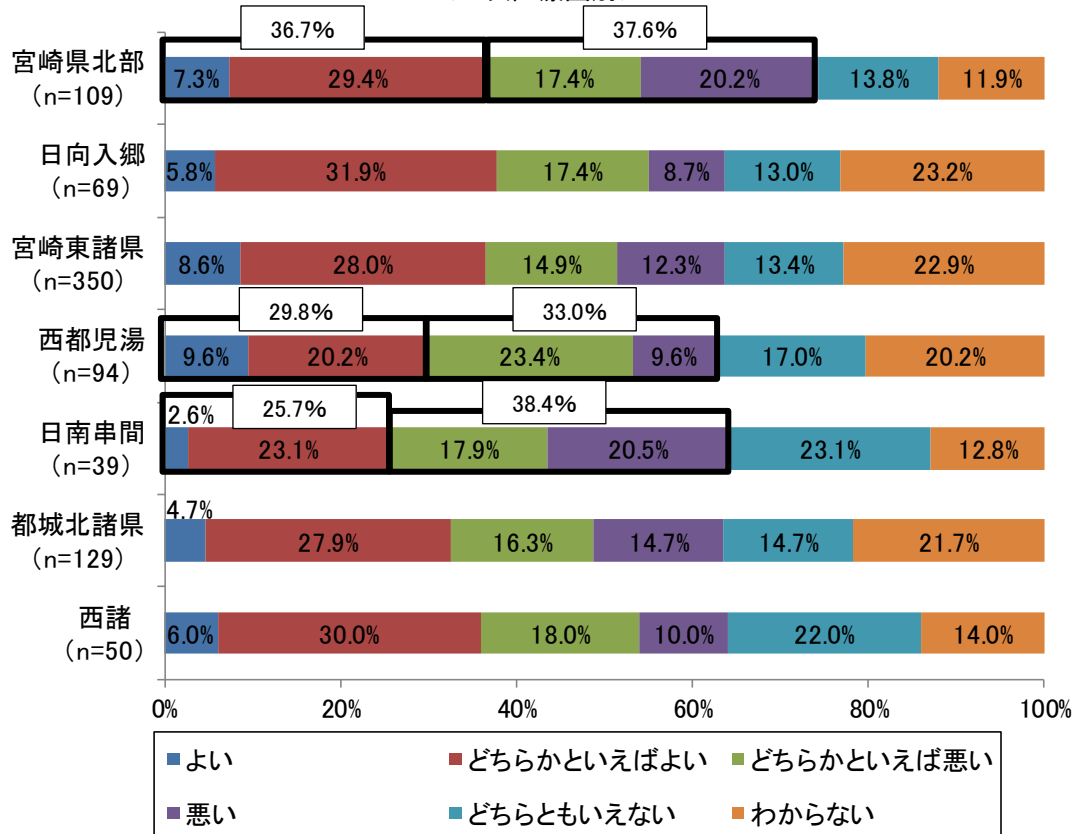
二次医療圏別では、宮崎県北部、西都児湯、日南串間は「悪い」の割合が「よい」を上回っている。



<年代別>



<二次医療圏別>



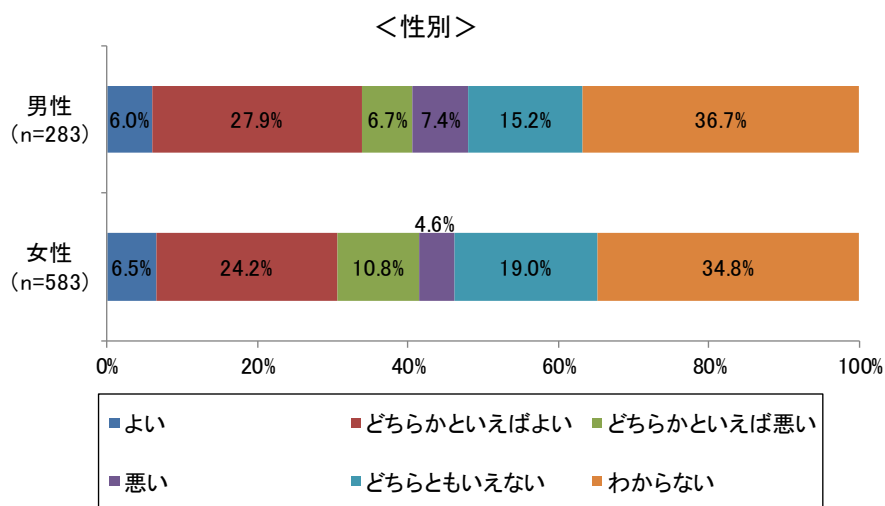
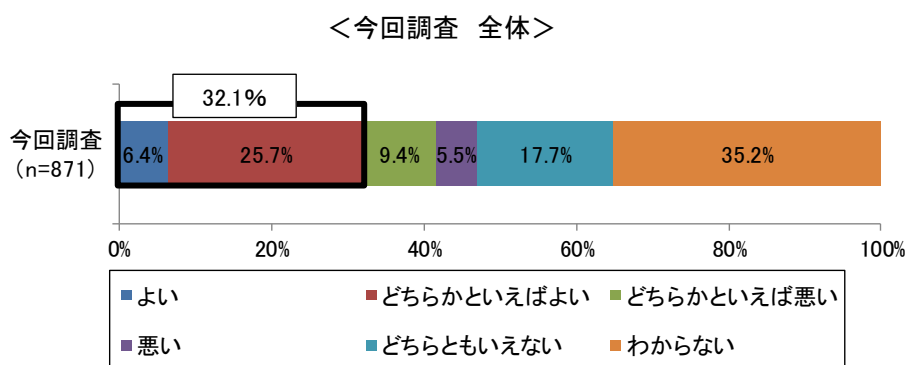
ケ 地域の支援体制(子ども会、自治会等)

「わからない」の割合(32.5%)が最も高くなっている。「よい」は32.1%となっている。

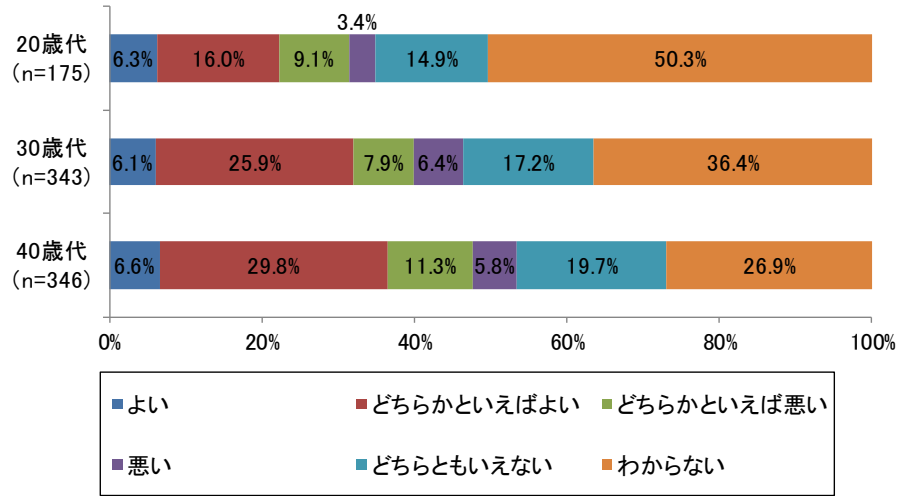
性別では、男女とも同様の傾向となっている。

年代別では、20歳代で「わからない」が半数(50.3%)となっているものの、年代が上がるにつれて「よい」の割合が高くなっている。

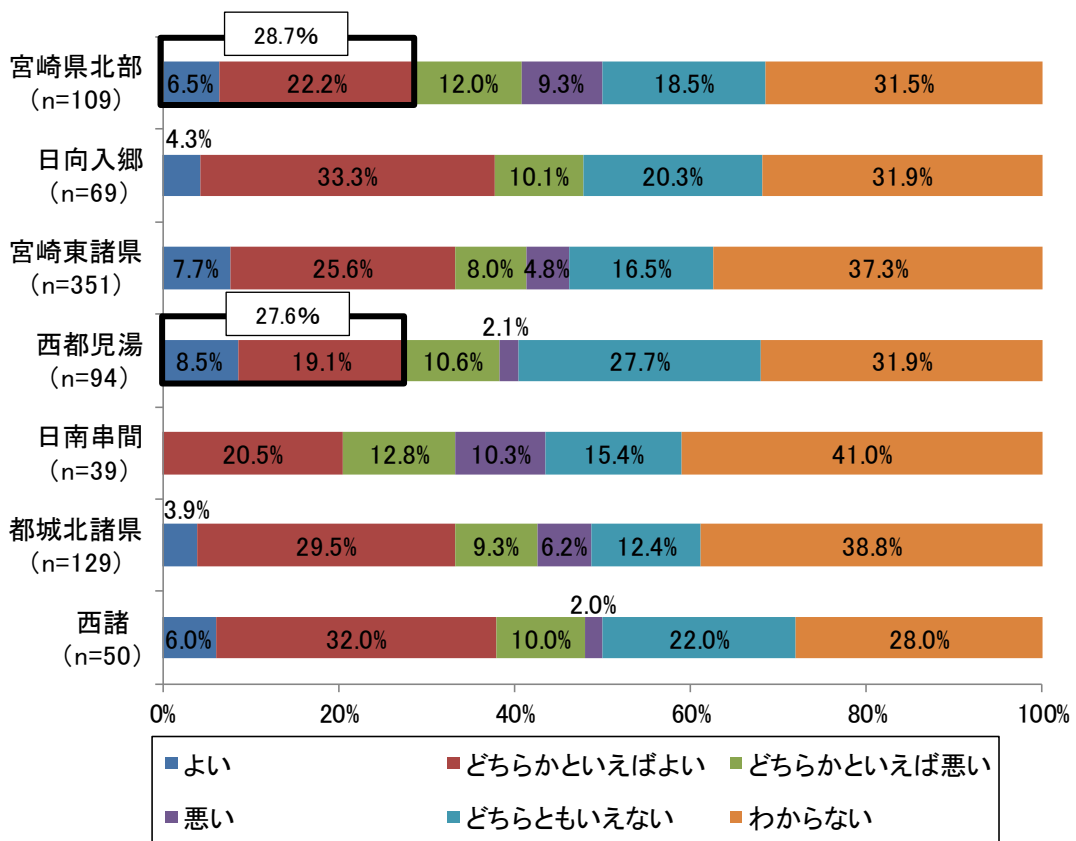
二次医療圏別では、「よい」が全体(32.1%)を下回っているのは、宮崎県北部(28.7%)、西都児湯(27.6%)、日南串間(20.0%)である。



<年代別>



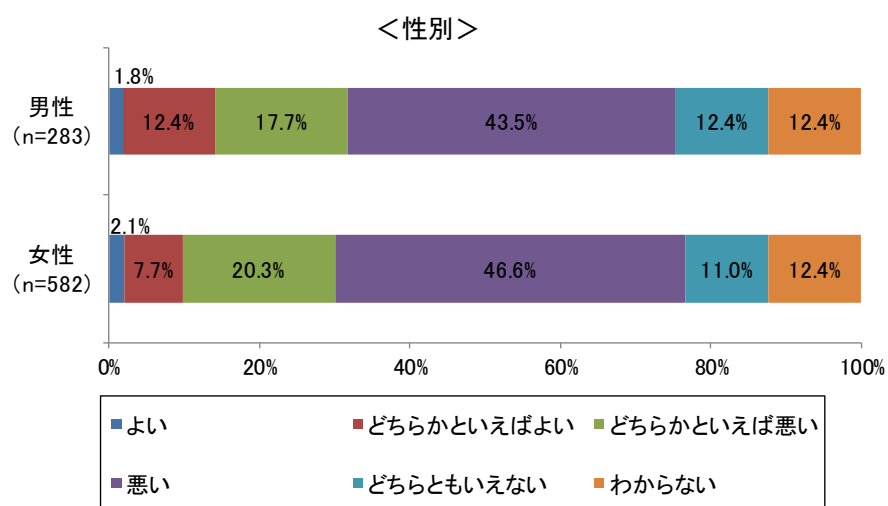
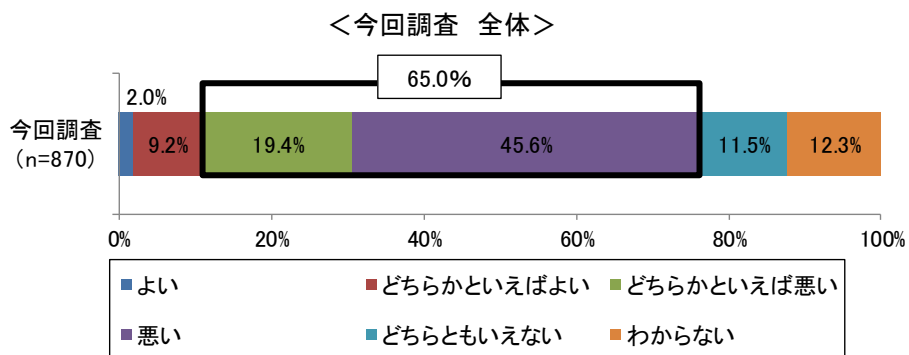
<二次医療圏別>



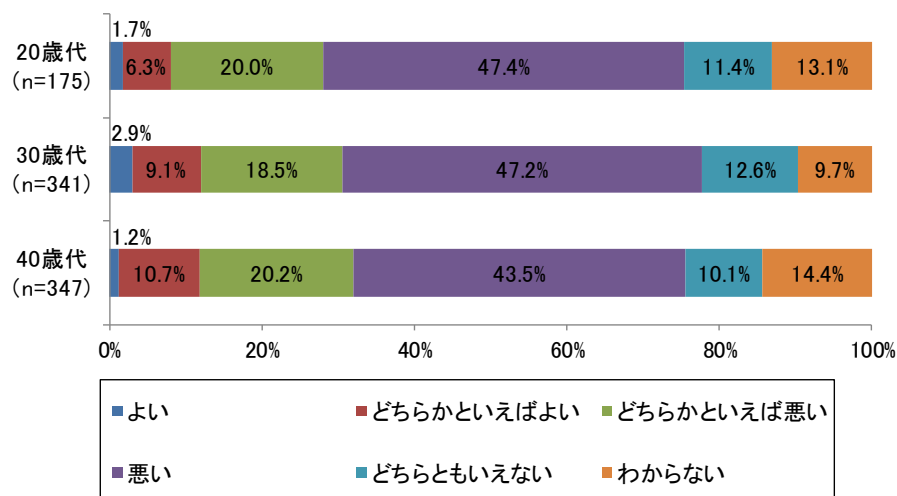
コ テーマパーク等の遊戯施設

「悪い」の割合が最も高く、65.0%となっている。

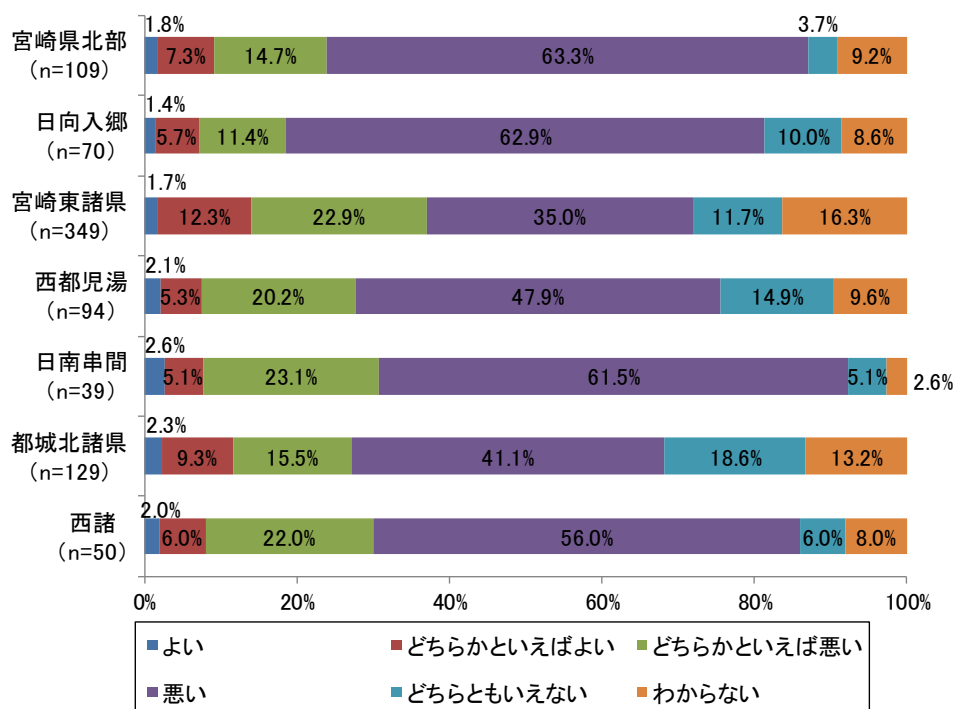
性別、年代別、二次医療圏別でも全体と概ね同様の傾向となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



問15 あなたは、子どもを安心して産み育てられることのできる環境を整備するために、県や市町村にどのような政策を望みますか。(3つまで○)

第1位「出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充」(51.7%)、第2位「保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減(給食費などを含む)」(33.9%)、第3位「育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化」(25.2%)となっている。

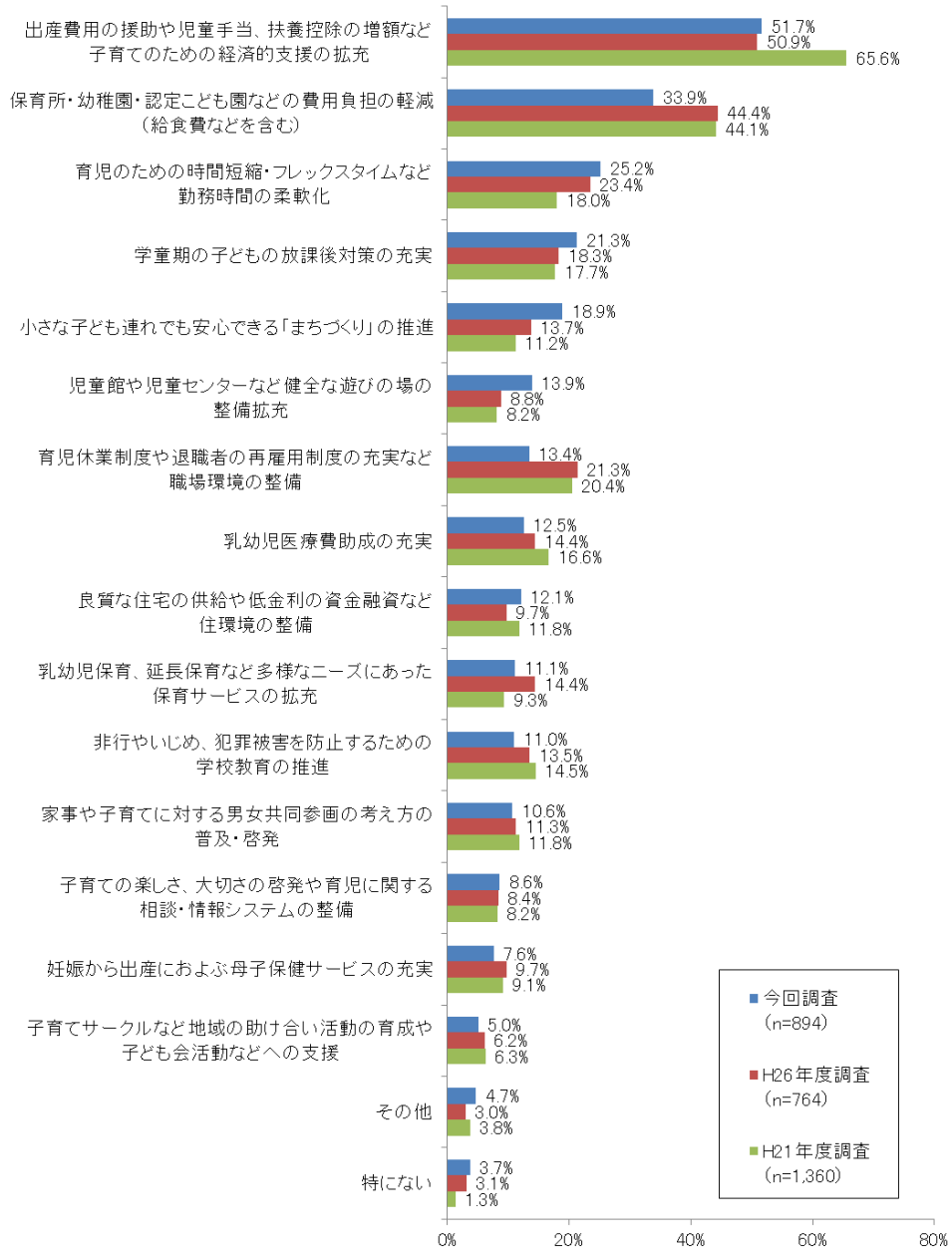
過去調査との比較では、政策の順位は概ね同様の傾向を示している。その中で今回は上位3項目ともその割合は過去調査より低下させている。(→項目の「選択の分散」がみられる。)

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。

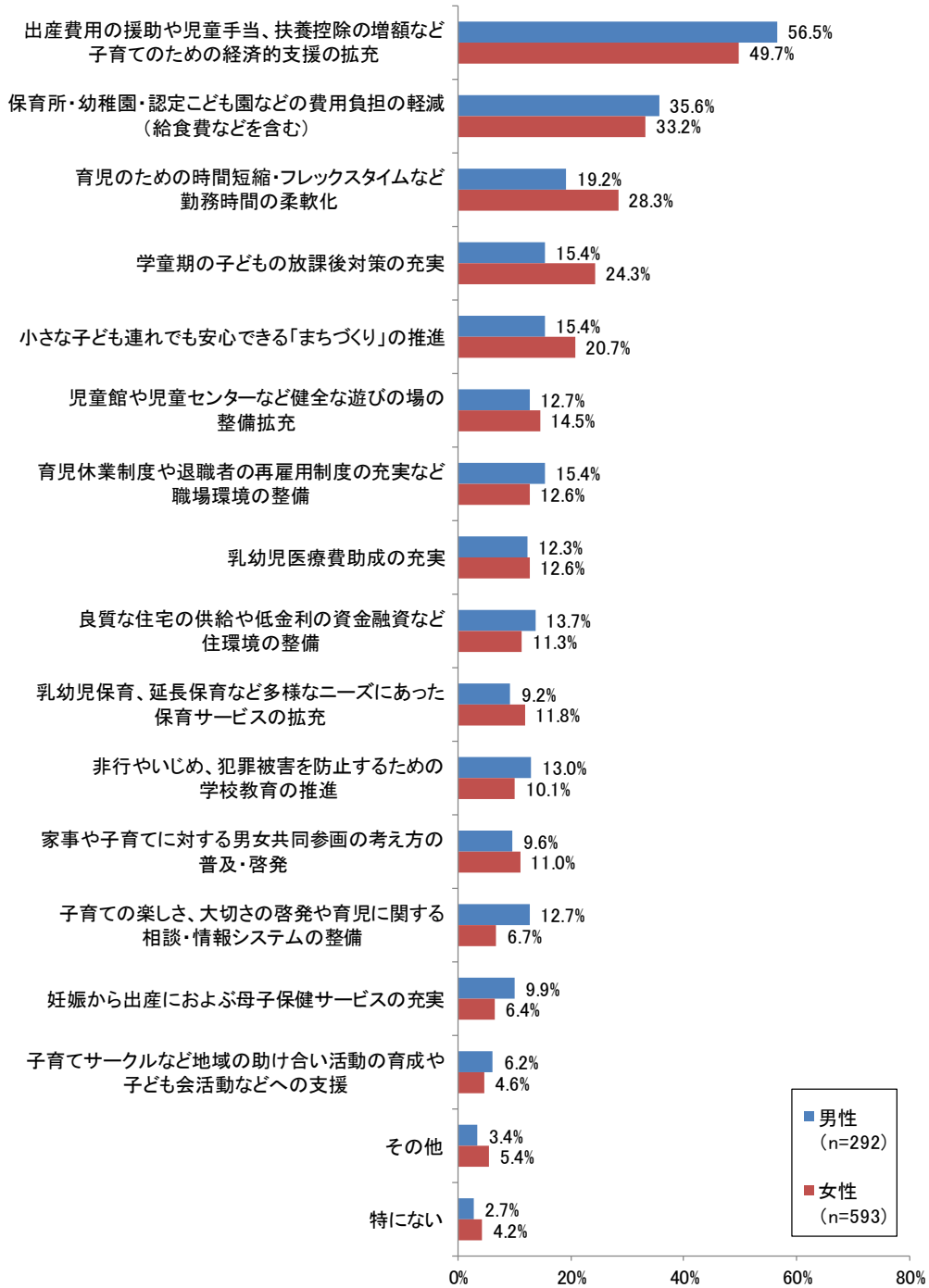
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示しているが、第1位、2位、3位の項目は若い年代ほど割合が高い状況にある。

二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向を示している。その中で日南串間は、第2位が「育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化」、宮崎県北部は第3位が「小さな子ども連れでも安心できる「まちづくり」の推進」、西都児湯は第3位が「学童期の子どもの放課後対策の充実」となっている。

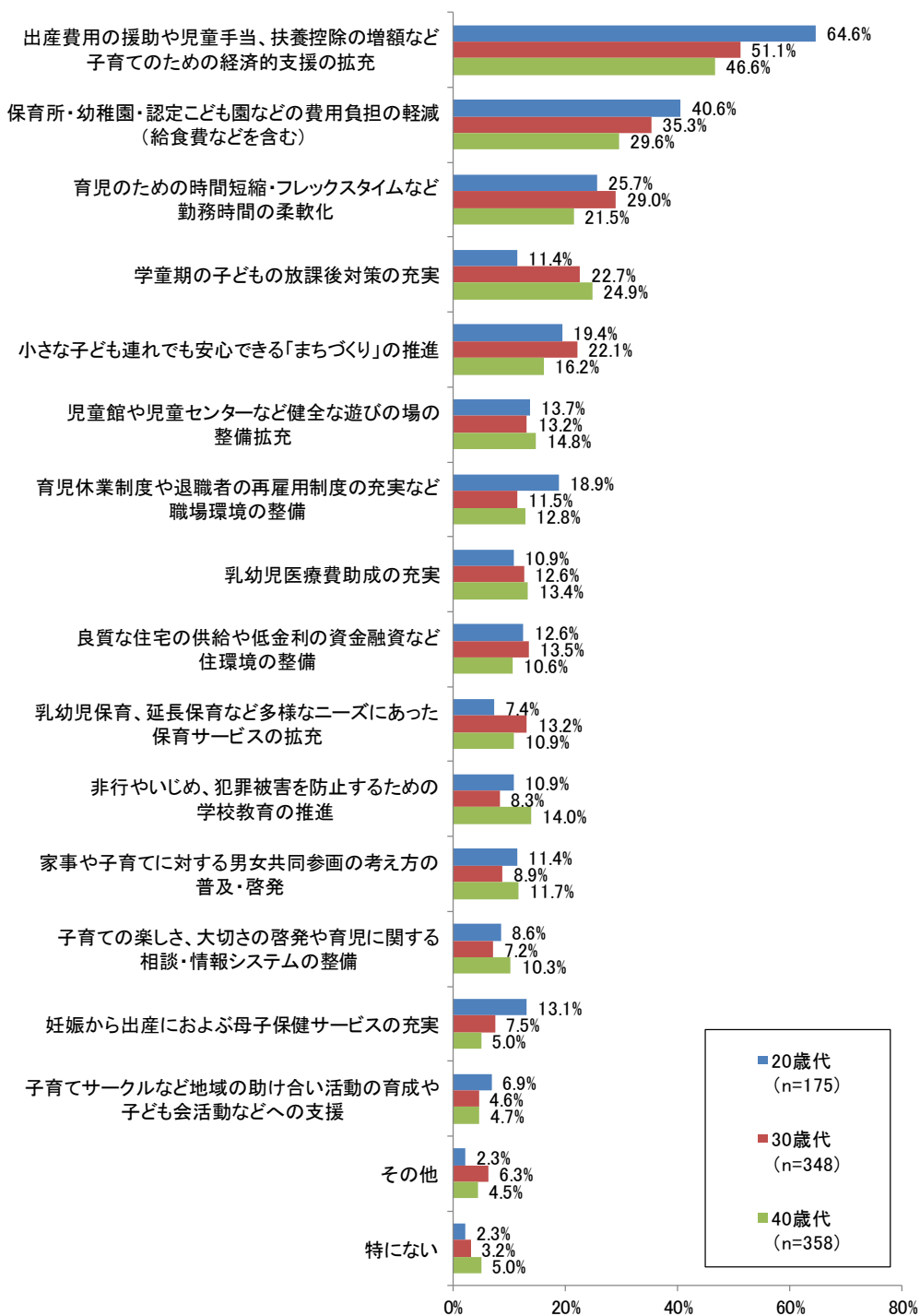
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充	54.1%	38.9%	52.4%	55.8%	55.0%	53.3%	49.0%
保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減(給食費などを含む)	33.0%	27.8%	35.5%	31.6%	27.5%	33.6%	35.3%
育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化	22.9%	26.4%	25.4%	16.8%	37.5%	27.0%	25.5%
学童期の子どもの放課後対策の充実	20.2%	19.4%	24.8%	25.3%	25.0%	15.3%	15.7%
小さな子ども連れでも安心できる「まちづくり」の推進	25.7%	26.4%	16.1%	23.2%	17.5%	14.6%	15.7%
児童館や児童センターなど健全な遊びの場の整備拡充	10.1%	13.9%	13.5%	14.7%	20.0%	13.9%	25.5%
育児休業制度や退職者の再雇用制度の充実など職場環境の整備	16.5%	13.9%	14.1%	11.6%	7.5%	11.7%	15.7%
乳幼児医療費助成の充実	20.2%	9.7%	10.4%	11.6%	7.5%	16.1%	11.8%
良質な住宅の供給や低金利の資金融資など住環境の整備	12.8%	15.3%	11.5%	14.7%	17.5%	9.5%	9.8%
乳幼児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充	14.7%	15.3%	11.3%	12.6%	7.5%	4.4%	13.7%
非行やいじめ、犯罪被害を防止するための学校教育の推進	8.3%	2.8%	12.1%	8.4%	17.5%	12.4%	13.7%
家事や子育てに対する男女共同参画の考え方の普及・啓発	7.3%	11.1%	12.1%	8.4%	12.5%	10.9%	9.8%
子育ての楽しさ、大切さの啓発や育児に関する相談・情報システムの整備	9.2%	6.9%	9.6%	7.4%	7.5%	8.0%	9.8%
妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実	8.3%	6.9%	6.5%	7.4%	12.5%	7.3%	5.9%
子育てサークルなど地域の助け合い活動の育成や子ども会活動などへの支援	4.6%	11.1%	5.6%	6.3%	0.0%	2.9%	3.9%
その他	2.8%	4.2%	4.5%	8.4%	2.5%	3.6%	7.8%
特になし	3.7%	2.8%	4.5%	2.1%	0.0%	5.8%	2.0%

6. 子どもの貧困対策に関することについておたずねします。

問16 現在、県では、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、「子どもの貧困対策」の取組を進めています。

あなたは、子どもの貧困対策を進めるために、県や市町村にどのような政策を望みますか。
(3つまで○)

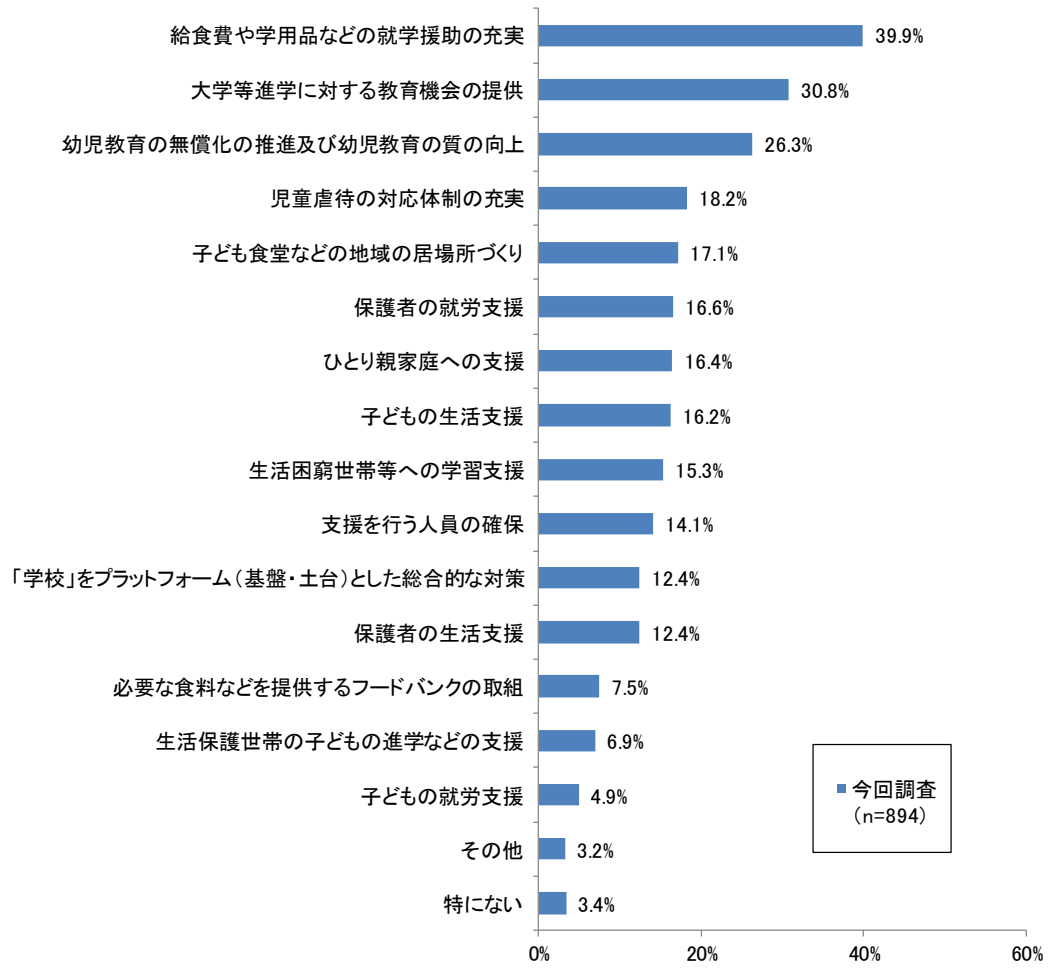
第1位「給食費や学用品などの就学援助の充実」(39.9%)、第2位「大学等進学に対する教育機会の提供」(30.8%)、第3位「幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上」(26.3%)となっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。その中で「大学等進学に対する教育機会の提供」(男性:25.7%、女性:33.2%)は女性が男性を7.5ポイント上回っており、「幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上」(男性:30.1%、女性:24.3%)は男性が女性を5.8ポイント上回っている。

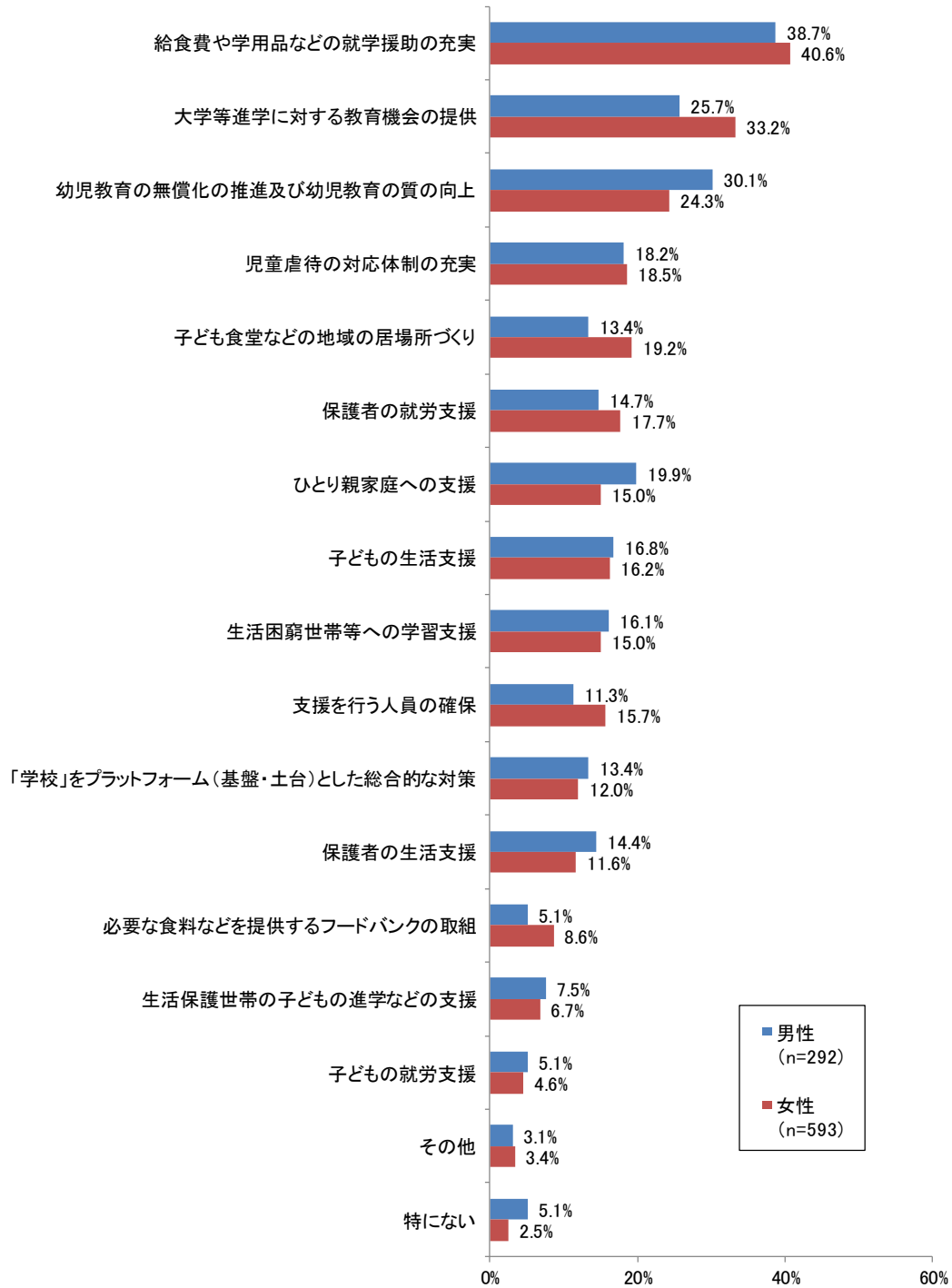
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示している。

二次医療圏別では、上位項目は全体と概ね同様の傾向を示している。その中で、宮崎県北部は「児童虐待の対応体制の充実」(22.9%)が第3位となっている。

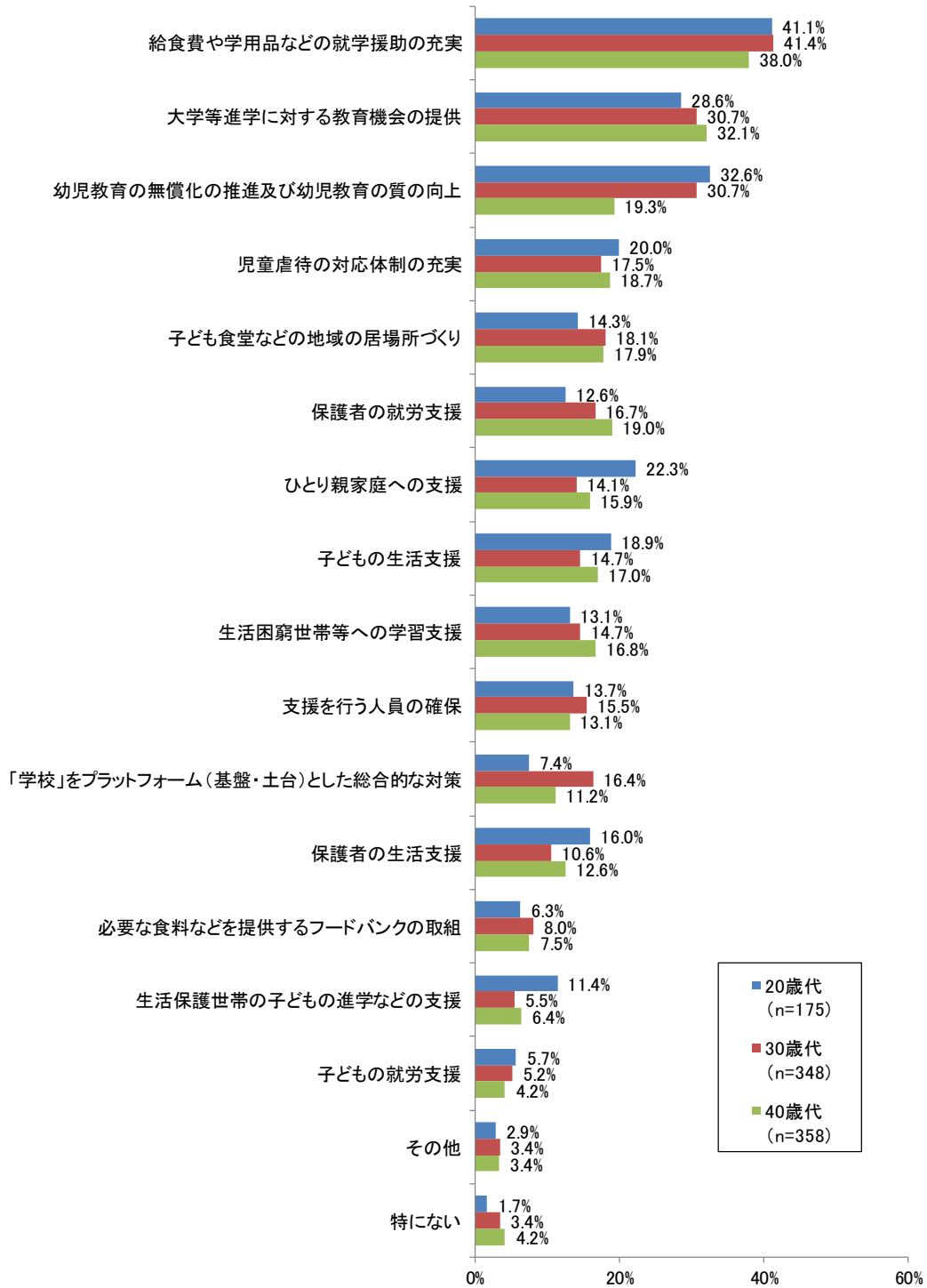
<今回調査 全体>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
給食費や学用品などの就学援助の充実	38.5%	36.1%	40.3%	44.2%	32.5%	41.6%	39.2%
大学等進学に対する教育機会の提供	36.7%	26.4%	34.9%	22.1%	30.0%	27.0%	29.4%
幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上	22.0%	36.1%	26.8%	24.2%	25.0%	24.8%	25.5%
児童虐待の対応体制の充実	22.9%	16.7%	16.3%	22.1%	20.0%	17.5%	19.6%
子ども食堂などの地域の居場所づくり	11.9%	13.9%	15.8%	18.9%	20.0%	24.8%	13.7%
保護者の就労支援	19.3%	13.9%	18.3%	16.8%	12.5%	14.6%	11.8%
ひとり親家庭への支援	18.3%	20.8%	17.7%	12.6%	12.5%	14.6%	11.8%
子どもの生活支援	18.3%	18.1%	13.5%	17.9%	20.0%	16.8%	23.5%
生活困窮世帯等への学習支援	10.1%	16.7%	17.2%	10.5%	12.5%	16.8%	15.7%
支援を行う人員の確保	18.3%	12.5%	12.7%	20.0%	17.5%	11.7%	13.7%
「学校」をプラットフォーム(基盤・土台)とした総合的な対策	12.8%	11.1%	12.1%	15.8%	7.5%	8.0%	21.6%
保護者の生活支援	11.9%	11.1%	11.8%	9.5%	12.5%	14.6%	13.7%
必要な食料などを提供するフードバンクの取組	10.1%	11.1%	7.6%	10.5%	5.0%	3.6%	3.9%
生活保護世帯の子どもの進学などの支援	8.3%	8.3%	6.2%	6.3%	12.5%	5.8%	5.9%
子どもの就労支援	8.3%	4.2%	5.9%	1.1%	7.5%	3.6%	2.0%
その他	3.7%	6.9%	3.1%	2.1%	0.0%	3.6%	2.0%
特になし	4.6%	1.4%	3.4%	4.2%	5.0%	1.5%	7.8%